

274
21



始



奈良女子高等師範學校一覽

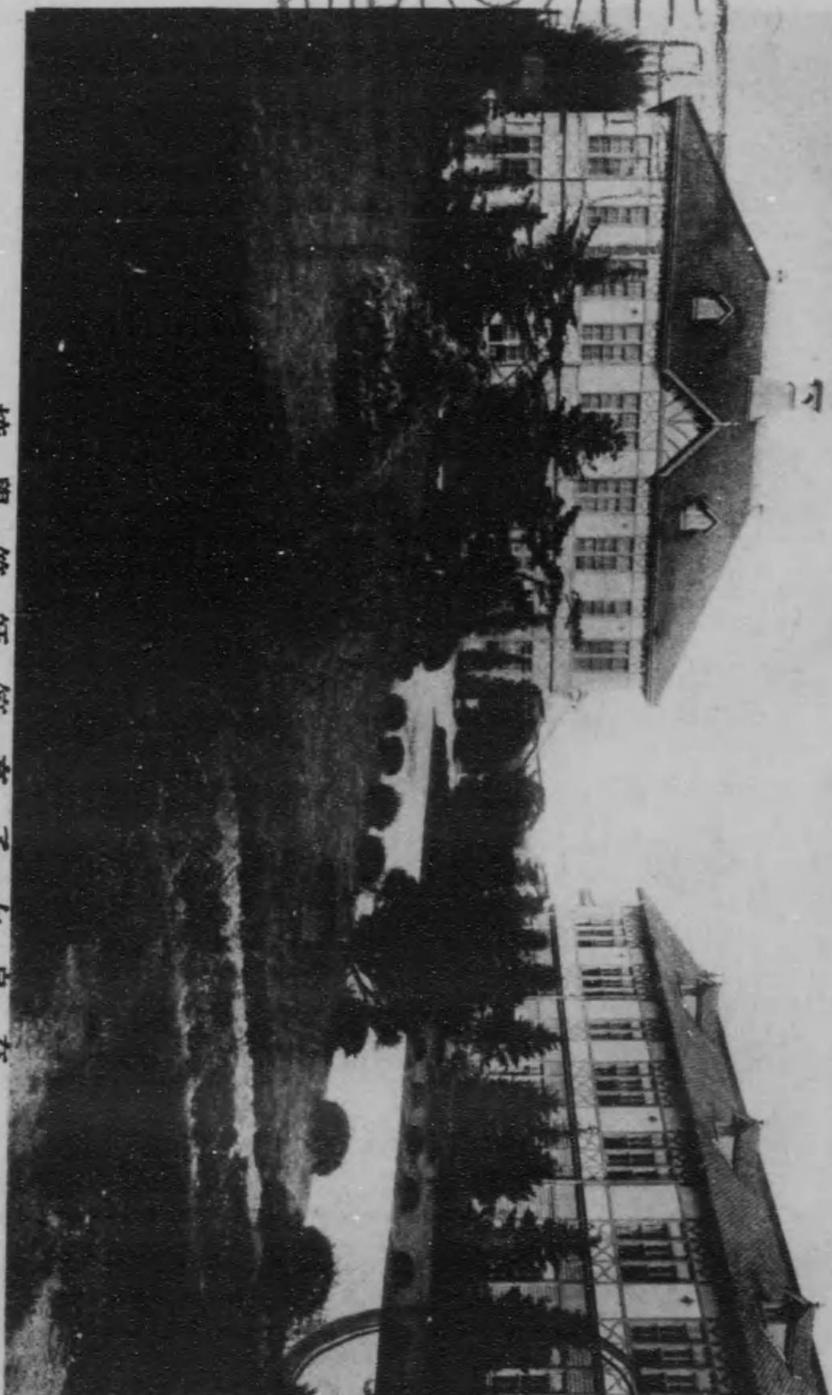
大正
八年
年度

正誤

頁	行	原文	訂正文
一一	五	寄附	寄附
一二	八	四十四年度	四十四年度
一三	三	部省	文部省
一四	三	許ス	許可ス
一五	三	書業生	卒業生
一六	三	腎臓炎	腎臓炎
一七	三	午業者	卒業者
一八	二	翌日	翌月
一九	二	原因、豫防	原因及豫防
二〇	二	自在圖	自在圖
二一	二	自在圖	自在圖
二二	一	四十五年	四十四年
二三	一	教練	教練
二四	一	春月	春日
二五	一	細規	細則
二六	一	以上第二學年	以上第二學年
二七	一	爲メサシ	爲メサシ
二八	一	コトコル	ニトアル
二九	一	コトコル	ニトアル
三〇	一	コトコル	ニトアル
三一	一	コトコル	ニトアル
三二	一	コトコル	ニトアル
三三	一	コトコル	ニトアル
三四	一	コトコル	ニトアル
三五	一	コトコル	ニトアル
三六	一	コトコル	ニトアル
三七	一	コトコル	ニトアル
三八	一	コトコル	ニトアル
三九	一	コトコル	ニトアル
四〇	一	コトコル	ニトアル
四一	一	コトコル	ニトアル
四二	一	コトコル	ニトアル
四三	一	コトコル	ニトアル
四四	一	コトコル	ニトアル
四五	一	コトコル	ニトアル
四六	一	コトコル	ニトアル
四七	一	コトコル	ニトアル
四八	一	コトコル	ニトアル
四九	一	コトコル	ニトアル
五〇	一	コトコル	ニトアル
五一	一	コトコル	ニトアル
五二	一	コトコル	ニトアル
五三	一	コトコル	ニトアル
五四	一	コトコル	ニトアル
五五	一	コトコル	ニトアル
五六	一	コトコル	ニトアル
五七	一	コトコル	ニトアル
五八	一	コトコル	ニトアル
五九	一	コトコル	ニトアル
六〇	一	コトコル	ニトアル
六一	一	コトコル	ニトアル
六二	一	コトコル	ニトアル
六三	一	コトコル	ニトアル
六四	一	コトコル	ニトアル
六五	一	コトコル	ニトアル
六六	一	コトコル	ニトアル
六七	一	コトコル	ニトアル
六八	一	コトコル	ニトアル
六九	一	コトコル	ニトアル
七〇	一	コトコル	ニトアル
七一	一	コトコル	ニトアル
七二	一	コトコル	ニトアル
七三	一	コトコル	ニトアル
七四	一	コトコル	ニトアル
七五	一	コトコル	ニトアル
七六	一	コトコル	ニトアル
七七	一	コトコル	ニトアル
七八	一	コトコル	ニトアル
七九	一	コトコル	ニトアル
八〇	一	コトコル	ニトアル
八一	一	コトコル	ニトアル
八二	一	コトコル	ニトアル
八三	一	コトコル	ニトアル
八四	一	コトコル	ニトアル
八五	一	コトコル	ニトアル
八六	一	コトコル	ニトアル
八七	一	コトコル	ニトアル
八八	一	コトコル	ニトアル
八九	一	コトコル	ニトアル
九〇	一	コトコル	ニトアル
九一	一	コトコル	ニトアル
九二	一	コトコル	ニトアル
九三	一	コトコル	ニトアル
九四	一	コトコル	ニトアル
九五	一	コトコル	ニトアル
九六	一	コトコル	ニトアル
九七	一	コトコル	ニトアル
九八	一	コトコル	ニトアル
九九	一	コトコル	ニトアル
一〇〇	一	コトコル	ニトアル

國立編譯館

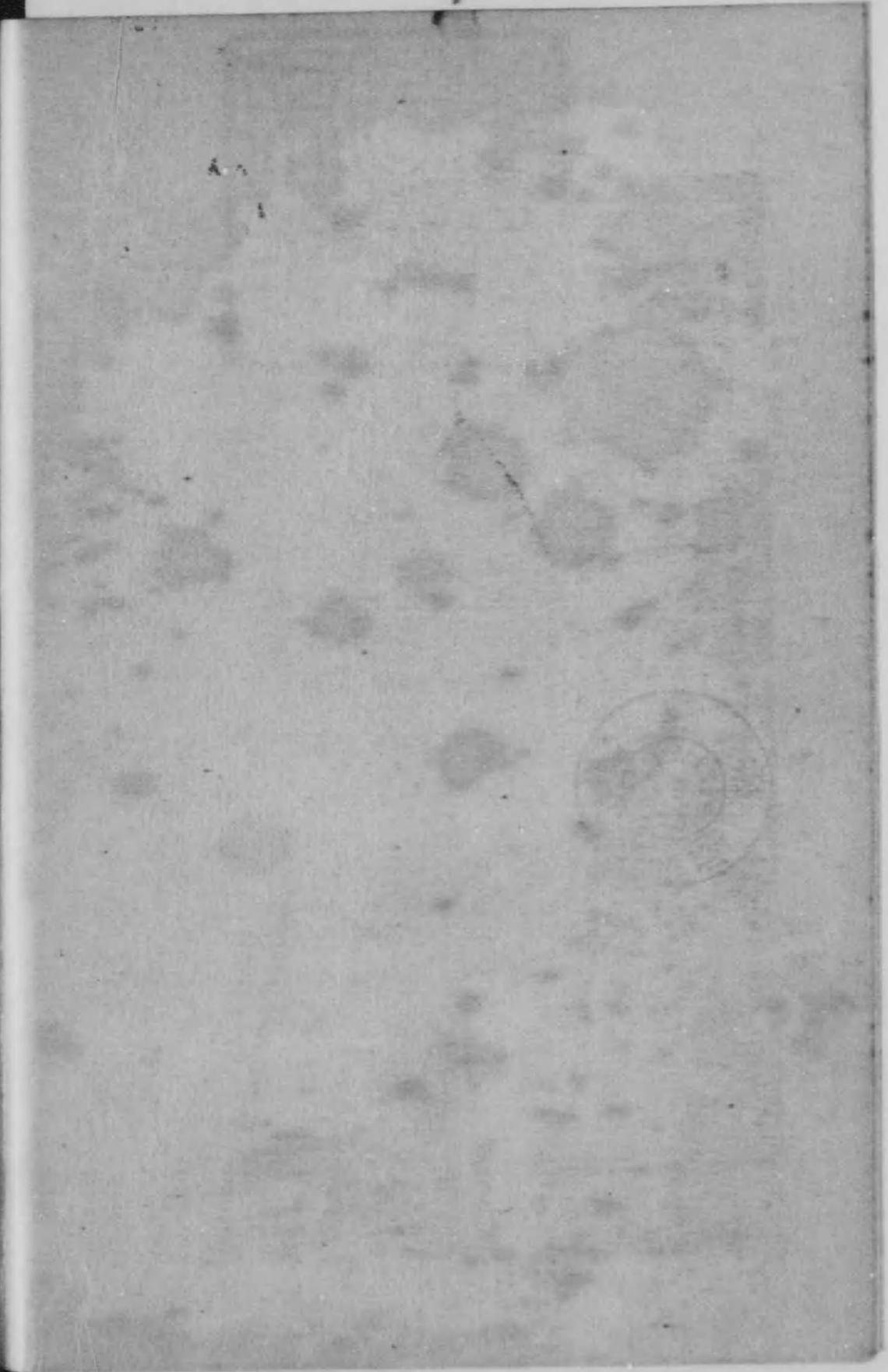
274-21



奈良女子高等師範學校

寄贈本

8. 12. 15
寄贈



奈良女子高等師範學校一覽

目次

一	沿革略	一頁
一	學年曆	七
一	女子高等師範學校ニ關スル法令	八
一	文部省直轄諸學校官制	九
二	師範教育令	三
三	女子高等師範學校規程	四
四	女子高等師範學校生徒募集規則	七
五	文部省直轄學校外國人特別入學規程	九
六	高等師範校女子高等師範學校及師範學校入學志望者入學禁止項目	〇
七	女子高等師範學校卒業者服務規則 <small>(明治四十三年三月以後ノ入學者ニ適用)</small>	一
八	學生生徒及幼兒身體檢査規程	三
九	行幸啓ノ節學生生徒敬禮方	九

一 本校規則細則類

一 本校規則	三
二 本校研究科規則	五一
三 本校附屬高等女學校規則	五三
四 本校附屬實科高等女學校規則	六八
五 本校附屬小學校規則	八〇
六 本校附屬幼稚園規則	八八
七 入學者選拔規則	九二
八 外國人特別入學規程細則	九五
九 獎勵學資支給規則	九七
十 教育實習ニ關スル規程及細則	九八
十一 生徒心得	一二
十二 生徒例規	一一三
十三 寄宿寮規則	一二二
十四 圖書館規則	一二三
十五 理科共同標本室規則	一二六
十六 文書處理規程	一二七

一 職

職員	一五四
----	-----

附 定員表、俸給表

一 生

生徒	一六九
----	-----

一 卒業者

卒業者	一八五
-----	-----

一 經費

一 創立費	二一六
二 經常費	二一六

一 資產

一 土地	二一八
------	-----

二 建物	二一八
三 備品	二一八
四 圖書	二一八
五 資金	二一八
內 譯	
一 主要建物表	二一八
二 備品數量價格表	二二一
三 圖書類別表	二二四
附 錄	
一 卒業證書授與式訓辭及告辭	二二九
二 本校人學志望者心得	二三一
三 本校々友會規則及細則	二三七
四 附屬高等女學校々友會規則	二五〇
五 附屬實科高等女學校臯月會規則	二五五

奈良女子高等師範學校一覽

◎沿革略

明治三十二年○高等女學校令ノ公布ト共ニ政府ニ於テ第二女子高等師範學校設立ノ議アリ
 此ヨリ先キ奈良市ハ官立學校ノ同市内ニ設立セラレンコトヲ希望シ其敷地數千坪ヲ政府ニ
 寄議セルアリ第一女子高等師範學校設立ノ議アルニ及ヒ奈良縣ハ奈良市ト協議シ女子高等
 師範學校ノ敷地ニ充ツヘキニ萬餘坪ノ地ヲ選定シテ曩ニ奈良市ヨリ寄附セシ地ト交換寄附
 センコトヲ願ヒ出テ政府ノ容ルル所トナレリ然レトモ政府財政ノ事情ハ直ニ第二女子高等
 師範學校ヲ設立スルヲ得ス空シク數年ヲ經過シ明治四十四年度ニ至リ始メテ校舍ノ建築ニ
 着手セラレタリ

明治四十一年○三月三十一日勅令第六十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ヲ加ヘテ
 本校ヲ設置セラレ勅令第六十九號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ本校職員（校長
 一人教授二人助教授二人書記二人）ヲ加ヘラル

明治四十二年○一月十八日文部省視學官從五位勳五等野尻精一校長ニ任セラレ同十九日文

部省内ニ於テ事務ヲ開始ス○二月十五日文部大臣ノ許可ヲ得テ入學者選抜規則ヲ定ム○四月一日事務所ヲ奈良市北魚屋西町ノ新築校舎ニ移ス同月七日勅令第八十八號ヲ以テ本校職員定員(教授二人ヲ十三人ニ、助教二人ヲ四人ニ、書記二人ヲ三人ニ)ヲ改正セラル同月十二日學費支給規則ヲ同十七日物品會計規程細則ヲ同十九日日本校規則ヲ何レモ文部大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム同二十九日地方長官ノ薦學生七十七人ニ入學ヲ許可シ教室一棟ヲ假リニ寄宿寮ニ充用シ生徒ヲ寄宿セシム○五月一日授業ヲ開始ス○九月二十日、天皇陛下、皇后陛下ノ御影及教育ニ關スル御親署ノ勅語ヲ下賜セララル

明治四十三年○二月二十四日文部大臣ノ許可ヲ得テ外國人特別入學規程細則ヲ定ム○三月二十六日勅令第六十七號ヲ以テ本校職員定員(教授十三人ヲ十八人ニ、助教四人ヲ八人ニ、書記三人ヲ五人ニ、新ニ助手二人ヲ加ヘラル)ヲ改正セラル○四月二日寄宿寮ヲ新築寮舎ニ移轉ス同月十六日地方長官ノ薦學生八十一人ニ入學ヲ許可シ清國女學生四人ニ聽講生トシテ入學ヲ許可ス○十一月四日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校規則中第二十三條第二十六條ヲ改正シ學費支給規則ヲ改定ス同日明治三十年部省令第二十四號女子高等師範學校規程第八條及明治四十二年文部省令第二十七號女子高等師範學校卒業生服務規則第四條ノ規定ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ本校授業費償還額ヲ定ム

明治四十四年○三月二十九日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬小學校規則ヲ定ム同月三十一日勅令第七十三號ヲ以テ本校職員定員(教授十八人ヲ二十二二人ニ、助教八人ヲ十人ニ、書記五人ヲ六人ニ、新ニ教諭十人、助教諭十人、訓導十八人ヲ加ヘラル)ヲ改正セラル○四月八日地方長官ノ薦學生七十七人ニ入學ヲ許可ス同月九日元奈良市第三尋常小學校朝日分教場校舎ヲ假用シ附屬小學校ヲ開始ス同月十三日清國女學生一人ニ聽講生トシテ入學ヲ許可ス○六月七日生徒心身鍛鍊ノ目的ヲ以テ薙刀稽古ヲ開始ス○七月二十日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬高等女學校規則ヲ定ム同月二十一日附屬小學校ヲ奈良市ノ寄附ニカカル新築校舎ニ移轉ス○九月六日元奈良縣立奈良高等女學校校舎ヲ假用シ附屬高等女學校ヲ開始ス○十月六日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校規則第五條及第十五條ヲ改正ス同月十六日附屬高等女學校ヲ奈良縣ノ寄附ニ係ル新築校舎ニ移轉ス

明治四十五年○三月十八日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬小學校規則中第一條各學年教授ノ程度並每週教授時數表中高等小學校ノ部及證書書式ヲ改正ス○四月二十二日地方長官ノ薦學生八十人ニ入學ヲ許可ス○五月二十九日勅令第三百三十號ヲ以テ本校職員定員(教授二十二人ヲ二十六人ニ、助教諭十人ヲ十一人ニ、新ニ保母四人ヲ加ヘラル)ヲ改正セラル○七月八日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬幼稚園規則ヲ定ム同月十九日文部省令第十八號ヲ以テ明治

三十年文部省令第二十二號女子高等師範學校生徒募集規則中改正セラルル同月三十日大正ト改元アリ

大正元年○十一月一日奈良市ノ寄附ニ係ル元奈良市第三尋常小學校朝日分教場校舍ヲ園舎ニ充テ附屬幼稚園幼兒保育ヲ開始ス○十二月五日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校規則中卒業證書書式ヲ改正ス

大正二年○二月十九日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校研究科規則ヲ制定ス○三月廿八日本校第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十三人)○四月八日地方長官ノ薦學生七十四人ニ入學ヲ許可ス○六月十三日勅令第百八十三號ヲ以テ本校職員定員(教授二十六人ヲ二十五人ニ、教諭十人ヲ九人ニ、保母四人ヲ五人ニ)ヲ改正セラル○八月九日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬高等女學校規則中生徒定員及授業料ヲ附屬小學校規則中兒童定員ヲ改正ス○十二月五日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬小學校規則中各學年教授ノ程度及每週教授時數表中體操ノ部ヲ改正ス

大正三年○三月三日文部省令第五號ヲ以テ女子高等師範學校規程中改正セラルル同月五日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校規則ヲ改正ス同月二十八日本校落成式及本校第二回卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十八人)○四月七日地方長官ノ薦學生六十一人ニ入學ヲ許可ス○九月

十日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校入學者選抜規則ヲ改正ス

大正四年○三月二十八日第三回卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十七人)○四月十日地方長官ノ薦學生七十五人ニ入學ヲ許可ス○十月二十一日 天皇陛下ノ御影ヲ下賜セラル○十月二十七日勅令第百三十六號ヲ以テ本校職員定員(教授二十五人ヲ二十四人ニ)ヲ改正セラル

大正五年○一月十七日文部省令第三號ヲ以テ女子高等師範學校生徒募集規則中改正セラル○三月二十八日第四回卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十六人)○四月一日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校規則ノ一部ヲ改正ス同月四日 皇后陛下 神武天皇二千五百年祭御參拜ノ爲奈良市ニ御駐泊中本校ニ 行啓アラセラル生徒ノ學業并成績品等ヲ 台覽アラセラル同月十日地方長官ノ薦學生七十一人ニ同月十五日補缺トシテ五名ニ入學ヲ許可ス同月十七日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬實科高等女學校規則ヲ定ム同月十八日勅令第百十四號ヲ以テ本校職員定員(教諭九人ヲ十一人ニ、助教諭十一人ヲ十六人ニ)ヲ改正セラル○五月一日附屬實科高等女學校ヲ開始ス○十月二十二日 皇后陛下御影 皇太子殿下御影ヲ下賜セラル同月二十六日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校卒業者授業費償還額ヲ改正ス○十二月二十六日文部大臣ノ許可ヲ得テ外國人特別入學規程細則ヲ改正ス同月二十八日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬

高等女學校規則中本科並補習科ノ課程及夏期休業期間ヲ改正ス

大正六年○一月十六日 皇后陛下御歌下賜セララル○二月一日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬小學校規則附屬幼稚園規則中授業料及保育料ノ額ヲ改正ス○三月二十四日第五回卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者五十九名)○四月十日地方長官ノ薦學生七十五名ニ入學ヲ許可ス○同月十一日文科選科生一名ニ入學ヲ許可ス○六月二十二日文部大臣ノ許可ヲ得テ入學者選抜規則中第二條(全員ノ六分ノ一ヲ全員ノ十分ノ一ニ改ム)ヲ改正シ第十條第十一條ヲ削除ス
大正七年○三月二十四日第六回卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者五十二名)○四月十日地方長官ノ薦學生八十三名ニ入學ヲ許可ス○同日選科生五名ニ入學ヲ許可ス○同月十九日選科生一名ニ入學ヲ許可ス○九月六日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬高等女學校規則及附屬實科高等女學校規則中ヲ改正シ休學ノ制ヲ設ク

大正八年○三月二十八日第七回卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者五十七名)○四月十日地方長官ノ薦學生七十六名ニ入學ヲ許ス○同日選科生十名ニ入學ヲ許可ス○七月十七日本校長野尻精一休職被仰付、同日文部省督學官兼東京女子高等師範學校教授正五位勳四等橫山榮次本校長ニ任セララル

◎學年曆

大正八年

- 四月一日 (火) 本校及附屬校園學年始
- 同月三日 (木) 神武天皇祭
- 同月八日 (火) 附屬校第一學期始業
- 同月十一日 (金) 本校第一學期始業
- 五月一日 (木) 學校記念日
- 六月二十五日 (水) 皇后陛下御誕辰
- 七月二十日 (日) 本校及附屬校園第一學期終業
- 同月三十日 (水) 明治天皇祭
- 八月三十一日 (日) 天長節
- 九月一日 (月) 附屬學校第二學期始業
- 同月十一日 (木) 本校及附屬幼稚園第二學期始業
- 同月二十日 (土) 御親署勅語下賜記念日

九月二十四日 (水) 秋季皇靈祭
 十月十七日 (金) 神嘗祭
 同 月三十一日 (金) 天長節祝日
 十一月二十三日 (日) 新嘗祭
 十二月廿四日 (水) 本校及附屬校園第二學期終業
 大正九年

一月一日 (木) 四方拜
 同 月三日 (土) 元始祭
 同 月八日 (木) 本校及附屬校園第三學期始業
 二月十一日 (水) 紀元節
 三月二十二日 (日) 春季皇靈祭
 同 月廿四日 (火) 本校及附屬校園第三學期終業

◎女子高等師範學校ニ關スル法令

一、文部省直轄諸學校官制

明治二十六年八月
 勅令第八十六號

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

- | | |
|------------|------------|
| 東京高等師範學校 | 廣島高等師範學校 |
| 東京女子高等師範學校 | 奈良女子高等師範學校 |
| 盛岡高等農林學校 | 鹿兒島高等農林學校 |
| 上田蠶絲專門學校 | 東京高等蠶絲學校 |
| 京都高等蠶業學校 | 東京高等商業學校 |
| 神戸高等商業學校 | 長崎高等商業學校 |
| 山口高等商業學校 | 小樽高等商業學校 |
| 第一高等學校 | 第二高等學校 |
| 第三高等學校 | 第四高等學校 |
| 第五高等學校 | 第六高等學校 |

女子高等師範學校ニ關スル法令

- 第七高等學校造士館
- 新潟高等學校
- 山口高等學校
- 千葉醫學專門學校
- 金澤醫學專門學校
- 新潟醫學專門學校
- 大阪高等工業學校
- 名古屋高等工業學校
- 米澤高等工業學校
- 秋田礦山專門學校
- 東京美術學校
- 東京盲學校
- 東京高等師範學校ニ附屬中學校及附屬小學校ヲ置ク
- 第三條 女子高等師範學校ニ附屬高等女學校附屬小學校及附屬幼稚園ヲ置ク
- 第四條 東京高等商業學校ニ商業教員養成所ヲ附設ス
- 第八高等學校
- 松本高等學校
- 松山高等學校
- 岡山醫學專門學校
- 長崎醫學專門學校
- 東京高等工業學校
- 京都高等工藝學校
- 熊本高等工業學校
- 桐生高等染織學校
- 東京外國語學校
- 東京音樂學校
- 東京聾啞學校

- 第四條ノ二 新潟醫學專門學校ニ附屬醫院ヲ置ク
- 第五條 東京高等工業學校ニ附屬職工徒弟學校及附屬工業補習學校ヲ置キ工業教員養成所ヲ附設ス
- 第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 校長
 - 教授
 - 生徒監
 - 助教
 - 書記
- 第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
- 第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル
- 第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
- 生徒監ハ校長ノ指揮ヲ受ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル
- 第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス
- 第十一條 高等師範學校及女子高等師範學校ニ第六條職員ノ外左ノ職員ヲ置ク

教諭
助教
訓導

第十二條 教諭ハ奏任トシ助教諭ハ判任トス附屬中學校及附屬高等女學校生徒ノ教育ヲ掌
リ兼テ師範生徒ノ實地授業ヲ監督ス

第十三條 訓導ハ判任トス附屬小學校生徒ノ授業ヲ掌リ兼テ師範生徒ノ實地授業ヲ監督ス
第十四條 高等師範學校ニ助手ヲ置ク判任トス教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事
ス

第十五條 女子高等師範學校ニ保姆ヲ置ク判任トス附屬幼稚園幼兒ノ保育ヲ掌ル

第十六條 東京盲學校及東京聾啞學校ニ教授助教ヲ置カス教諭及訓導ヲ置ク教諭ハ奏任
トシ訓導ハ判任トス

東京盲學校教諭ハ盲教員志望者ノ授業ヲ東京聾啞學校教諭ハ聾啞教員志望者ノ教授ヲ掌
リ訓導ハ生徒ノ授業ヲ掌ル

第十七條 專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官
ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授

業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十八條 文部大臣ハ高等師範學校女子高等師範學校東京高等商業學校及東京高等工業學
校教官ノ中ヨリ各其附屬學校主事教員養成所主事附屬幼稚園主事ヲ命シ其ノ事務ヲ掌ラ
シムルコトヲ得

第十八條ノ二 新潟醫學專門學校附屬醫院ニ醫院長、醫長、醫員、藥局長及調劑員ヲ置キ
同校教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委
員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、師範教育令

明治三十年十月
勅令第三百四十六號

第一條 高等師範學校ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
女子高等師範學校ハ師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
師範學校ハ小學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

前三項ニ記載シタル學校ニ於テハ順良信愛威重ノ德性ヲ涵養スルコトヲ務ムヘシ
第二條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ東京ニ各一校ヲ設置シ師範學校ハ北海道及各

府縣ニ各一校若ハ數校ヲ設置ス
第三條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ師範學校ハ地方長官ノ管理ニ屬ス

第四條 師範學校ノ經費(北海道及沖繩縣ヲ除ク)ハ府縣稅又ハ地方稅ノ負擔トス

第五條 師範學校ノ設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ募集及卒業後ノ服務ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第七條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ學費ハ文部大臣ノ定ムル所ニヨリ其ノ學校ヨリ之ヲ支給スヘシ
前項ノ外文部大臣ノ定ムル所ニ依リ私費生ヲ置クコトヲ得

第八條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校ノ學科及其程度並教科書ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條 師範學校ニ豫備科小學校教員講習科及幼稚園保姆講習科ヲ置クコトヲ得

三、女子高等師範學校規程

明治三十年十月
文部省令第二十四號

第一條 女子高等師範學校ノ學科ヲ分チテ文科、理科、家事科トス
第二條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地理、外國語、家事、音樂、體操トス

理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、礦物及地質、植物、動物、生理及衛生
外國語、家事、圖書及手工、音樂、體操トス

家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、裁縫、手藝、手工、園藝、圖書、國語、外國語、數學、音樂、體操トス

家事科ハ之ヲ分チテ第一部及第二部トナスコトヲ得

學校長ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ前各項ノ學科目ヲ加除スルコトヲ得

第三條 前條ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトヲ得

第四條 女子高等師範學校ノ學科ハ師範學校女子部ノ課程ニ照シ更ニ一層精深ナル程度ニ於テ教授スルモノトス

第五條 女子高等師範學校各學科ノ修業年限ハ四箇年トス

第六條 (削除)

第七條 第四年級生徒ハ附屬學校及幼稚園ニ於テ實地授業及保育ニ從事セシム

第八條 生徒在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘシ

文部大臣ハ其ノ情狀ニ依リ前項償還スヘキ學資及授業費ノ全部若ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條 生徒在學中疾病ニ罹リ若クハ學業進マス又ハ品行修マラサルカ爲ニ成業ニ適セスト認めルトキハ學校長ヨリ退學ヲ命スヘシ

第十條 女子高等師範學校ノ卒業生又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者ニシテ第二條ニ規定シタル科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ專攻セントスル者ノ爲ニ研究科ヲ置ク

研究科ノ修業年限ハ一箇年乃至二箇年トス

第十一條 師範學校女子部及高等女學校教員ノ缺乏ヲ充タス爲ニ特別ノ必要アル場合ニ於テハ專修科ヲ置クコトヲ得

專修科ノ學科目及其ノ程度並ニ修業年限、募集人員、入學者資格等ハ其都度文部大臣ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム

第十二條 師範學校女子部又ハ高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル者ニシテ各學科中ノ一科目若クハ數科目ヲ選ヒテ學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

選科生ハ何等ノ科目ヲ選フニ拘ラス修身、教育ヲ兼修スルコトヲ要ス

選科生ノ在學期間ハ四箇年トス但シ特別ノ事情アル者ニ就キテハ學校長ニ於テ本文ノ期間ヲ伸縮スルコトヲ得

第十三條 一箇年以上ノ課程ヲ卒リタル本科生ニハ學業ノ成績ニ依リ所設ノ科目中其數ヲ限リ修メシムルコトヲ得

附 則
本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ學校長ニ於テ便宜本令ノ規定ヲ斟酌スルコトヲ得

四、女子高等師範學校生徒募集規則

明治三十年十月
文部省令第二十二號

第一條 女子高等師範學校文科生、理科生、家事科生、及專修科生ハ師範學校、高等女學校本科卒業者ニシテ身體健全品行方正ナル者ニ就キ當該學校長ノ薦舉ニ依リ女子高等師範學校長試験ノ上選拔ス但シ女子高等師範學校長ニ於テ必要ト認めタルトキハ地方長官

ノ薦舉ニ依リ試験ヲ須ヒスシテ之ヲ選拔スルコトヲ得

前項ノ試験ハ當該學校ノ屬スル地方廳所在地ニ於テ行ヒ東京府ヲ除ク外地方長官之ヲ監督ス

女子高等師範學校長ハ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ第一項ニ規定シタルモノノ外薦舉ニ關スル條件ヲ定ムルコトヲ得

第一項ニ掲ケタル師範學校及高等女學校ノ生徒ニシテ當該學校長ニ於テ本條ノ募集ニ依リ入學スヘキ者ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メタル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得

第二條 女子高等師範學校文科生、理科生及家事科生ハ毎年一回專修科生ハ臨時之ヲ募集シ其都度女子高等師範學校長之ヲ公告ス但シ第一條第一項但書ノ場合ニ於テハ女子高等師範學校長ハ期日及員數等ヲ地方長官ニ通知スヘシ

第三條 第一條ニ依リ募集スルモノノ外女子高等師範學校長ハ身體健全品行方正ニシテ學力年齡當該學級ニ相當スル者ヲ募集シ試験ノ上入學セシムルコトヲ得

第四條 (削除)

第五條 研究生及選科生ノ募集ニ關スル規程ハ女子高等師範學校長之ヲ定メ文部大臣ノ許

可ヲ受クヘシ

(備考)

朝鮮總督府及臺灣總督府ニ於テ管内高等女學校書業生ニ就キ相當資格アル者ヲ薦舉シタル場合ハ本則第一條ノ地方長官薦舉ニ準ス(明治四十四年十月廿六日普通學務局長通牒摘要)

五、文部省直轄學校外國人特別入學規程

明治三十四年十一月文部省令第十五號

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限りニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ、入學試驗料入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

六、高等師範學校女子高等師範學校及師範學校

入學志望者入學禁止項目

明治三十五年二月
文部省令第五號

高等師範學校、女子高等師範學校及師範學校ニ於テハ其ノ入學希望者ニシテ左ノ各項ノ一ニ該當スルモノヲ入學セシムヘカラス

- 一 明治三十三年文部省令第四號學生生徒身體檢査規程第五條第一項第七號ノ體格薄弱ニ屬スル者
- 二 精神機能ニ障害アル者
- 三 傳染性眼炎ヲ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ補正スルコト能ハサル近視亂視弱視等ヲ有スル者
- 四 聽官又ハ言語ノ障害著シキ者

五 肺結核其他結核ノ諸兆アル者

六 心臟瓣膜病ヲ患フル者

七 惡性腫瘍、腎臟炎、糖尿病、重症貧血等ヲ患フル者

八 修學上ニ妨アル疾病ニ罹リ急治ノ見込ナキ者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾病ヲ患フル者

七、女子高等師範學校卒業生服務規則

明治四十二年十二月
文部省令第二十七號

第一條 女子高等師範學校卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一 文科、理科及家事科卒業生中甲種ノ學資支給ヲ受ケタル者ハ五箇年

二 文科、理科及家事科卒業生中乙種ノ學資支給ヲ受ケタル者ハ四箇年

三 文科、理科及家事科私費卒業生ハ三ヶ年

四 專修科卒業生中學資ノ支給ヲ受ケタル者
(修業年限三箇年ノ者ハ三箇年
修業年限二箇年ノ者ハ二箇年)

五 專修科私費卒業生
(修業年限三箇年ノ者ハ二箇年
修業年限二箇年ノ者ハ一箇年)

第二條 女子高等師範學校卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ從ヒ奉職スル義務ヲ有ス

- 一 文科、理科及家事科卒業者中甲種ノ學資支給ヲ受ケタル者ハ三箇年
 - 二 文科、理科及家事科卒業者中乙種ノ學資支給ヲ受ケタル者ハ二箇年
 - 三 文科、理科及家事科私費卒業者ハ一箇年
 - 四 專修科卒業者中學資ノ支給ヲ受ケタル者(修業年限三箇年ノ者ハ二箇年、修業年限二箇年ノ者ハ一箇年)
 - 五 專修科私費卒業者ハ一箇年
- 第三條 女子高等師範學校卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第一條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサル者ハ其ノ理由ヲ具シ女子高等師範學校長又ハ地方長官ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得
- 前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ女子高等師範學校長又ハ地方長官ハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ
- 第四條 女子高等師範學校卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アリタルトキハ文部大臣ノ指揮ニヨリ學資支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ授業費及在學中支給セラレタル學資私費卒業者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ狀況ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
- 一 第一條ノ義務ヲ履行セサル者

- 二 服務年限中懲戒免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者
 - 前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ
 - 第五條 女子高等師範學校卒業者ニシテ服務年限中研究科等ニ入學セントスル者アルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ
 - 第六條 女子高等師範學校卒業者ニシテ第三條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科等ニ入學シタルトキハ其猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス
- 附 則
- 本令ハ明治四十三年三月一日ヨリ施行ス
- 本令施行以前ニ入學シタル者ノ服務年限ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

八、學生生徒及幼兒身體檢查規程

明治三十三年三月
文部省令第四號

- 第一條 學生生徒ノ身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ
- 學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ學生生徒ニ就キ臨時身體檢查ノ全部若ハ一部ヲ施行スルコトヲ得
- 第二條 明治三十一年勅令第二號第一條第二項ニ依リ學校醫ヲ置カサル町村立學校及私立

ノ小學校及各種學校ハ本令ノ身體検査ヲ行ハサルコトヲ得

第三條 身體検査ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ但シ學校醫ヲ置カサル場合ニ於テハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四條 身體検査ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

- 一 身長
- 二 體重
- 三 胸圍
- 四 脊柱
- 五 體格
- 六 視力
- 七 眼疾
- 八 聽力
- 九 耳疾
- 十 齒牙
- 十一 疾病

小學校生徒ニ在リテハ視力及聽力ノ二項目ヲ検査スルコトヲ要セス但シ著シキ障害アリト認ムルモノハ此限ニアラス

第五條 身體検査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一 (削除)

二 検査ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ匁ニ止ムヘシ

三 身長ヲ測定スルニハ足袋、靴等ヲ脱セシメ兩脚ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂ルレ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ鬚アル者ハ小桿ヲ鬚下ヨリ水平ニ横ヘテ測定スヘシ

四 體重ハ着衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ着衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ

五 胸圍ハ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ自然ノ位置ニ在ラシメ乳頭ノ水平線ニ於テ常時ヲ測定スヘシ充盈、空虚ノ差ヲ測定スルトキ亦同シ但シ小學校生徒ニ在リテハ常時ノミヲ測定スルモノトス

六 脊柱ハ正、左彎、右彎、前屈、後屈ヲ検査シ屈彎ニ就キテハ其程度ニ依リ各強中弱ノ三種ニ區別スヘシ

七 體格ハ強健、中等、薄弱ノ三等ニ區別スヘシ

八 視力ハ中心視力ヲ兩眼ニ就キテ各別ニ検査スヘシ

九 聽力ハ其ノ障害ノ有無ヲ検査スヘシ

十 齒牙ハ齲齒ニ就キ検査スヘシ

十一 疾病ハ腺病、營養不良、貧血、脚氣、肺結核、頭痛、衄血、神經衰弱、鼻疾、咽喉病、傳染性皮膚病其ノ他慢性疾患等検査ノ際ニ發見シタルモノヲ記入スヘシ
前各號ノ外身體検査上必要ト認メタル事項ハ特ニ検査ヲ行フヘシ

第六條 身體検査ヲ施行シタルトキハ左ノ様式ニ依リ身體検査票ヲ調製スヘシ

(校名)學生生徒		年		身長		體重		胸圍		脊柱		體格		視力		眼疾		聽力		耳疾		齒牙		疾病		檢査人員			
		長	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	正	遠	近	其	正	遠	近	其	正	遠	近	其	正	遠	近	其
		常時	盈	虛	差	左	右	前	後	強	中	薄	左	右	ト	ラ	ホ	ム	障	害	疾	疾	疾	疾					

一本表ハ男生徒女生徒ヲ置クモノ及學科ノ部類ヲ異ニスルモノハ各別ニ調製スヘシ
 一年齡ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其ノ他之ニ準ス
 一身長、胸圍ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ孰モ同一年齡ニ於ケル各檢査人員ノ
 身長、胸圍又ハ體重ノ各合計ヲ掲ケ最大、最小ノ各欄ニハ其ノ檢査人員中ノ最大、最小
 ナルモノヲ掲ケ平均ノ各欄ニハ其檢査人員ヲ以テ身長、胸圍ノ總長又ハ體重ノ總重ヲ除
 シタル商ヲ掲クヘシ
 一視力ニ就キテハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視又ハ其ノ他(亂視、斜視、弱視
 等)ノ者ノ人員ヲ掲ケ左眼又ハ右眼ノ欄ニハ左眼又ハ右眼ノ一方ノミ正視、遠視、近視
 又ハ其ノ他(亂視、斜視、弱視等)ノ者ノ人員ヲ掲クヘシ但シ失明者ニ關シテハ兩眼又ハ
 片眼ニ區別シ備考ノ欄ニ於テ其數ヲ示スヘシ
 一檢査スヘキ項目ノ一部ノ檢査ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スヘカラス

一外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スヘカラス
 一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ
 記載スヘシ
 一學校ニ於ケル重ナル疾病ノ原因、豫防等ニ關シ學校醫等ノ意見アルトキハ之ヲ表末ニ附
 記スヘシ
 第八條 幼稚園ニ於テハ本令中小學校生徒ノ身體檢査ニ關スル規定ヲ準用ス

九、行幸啓ノ節學生生徒敬禮方

明治四十三年八月
 文部省訓令第十八號

一 武裝携銃ノ場合
 (略ス)
 二 武裝セサル場合(女生徒ヲ含ム)
 學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付
 ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シ
 タルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ(體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム)
 「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

右訓令ニ關シ文部次官通牒摘要 (明治四十三年八月二十六日)

追テ大雨雪ノ際ハ雨具ヲ用フルモ苦カラス又幼稚園並尋常小學校第二學年以下ノ兒童ハ
參列セシメサルヲ可トシ尙第三學年以上ノ兒童ト雖場合ニ依リ參列セシメサルモ差支無
之候條御承知相成度

右訓令ニ關シ文部省普通學務局長通牒摘要 (明治四十三年八月二十六日)

文部省訓令第十八號末段敬禮ヲ終リ直立不動ノ姿勢ニ復シタル後目迎目送ハ差支ナシ

一、本校ハ女子師範學校、師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成シ兼
ネテ普通教育及幼兒保育ノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

◎ 本校規則細則類

一、奈良女子高等師範學校規則

大正五年四月收定

第一章 目的

第一條 本校ハ女子師範學校、師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成シ兼
ネテ普通教育及幼兒保育ノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第二章 學科及修業年限

第二條 學科ヲ分テテ文科、理科及家事科トス

第三條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地理、習字、英語、音樂、體操
トス

理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、鑛物及地質、植物、動物、生理及衛生
家事、園藝、圖畫及手工、英語、音樂、體操トス

家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事、裁縫、理科、數學、圖畫、國語、英語、音樂、體
操トス

第四條 前條各學科ノ學科目ノ外別ニ選修科目ヲ設ケ生徒ノ希望ニ隨ヒテ之ヲ選修セシメ又科外講話及科外稽古ヲ行ヒ生徒ノ全部又ハ一部ヲシテ聽講又ハ學習セシムルコトアルヘシ

第五條 修業年限ハ四箇年トス

第六條 第二學年以上ノ生徒ニハ學業成績ノ情況ニ依リ規定ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ課セサルコトアルヘシ

第三章 學年、學期及休業

第七條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第八條 學年ヲ分チテ三學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第九條 休業日ハ左ノ如シ
祝日 大祭日
皇后陛下御誕辰
學校記念日
日曜日

春季休業 自三月二十五日 至四月十日
夏季休業 自七月二十一日 至九月十日
冬季休業 自十二月廿五日 至翌年一月七日

第四章 學科程度及教授時數

第十條 各學科ニ屬スル各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

◎文科

修身

生徒心得 教育ニ關スル勅語ノ述義 戊申詔書ノ述義 實踐道德 日本道德史 本邦法制ノ大要 國民道德ノ要領 倫理ノ要領 作法 教授ニ關スル注意

教育

生理及衛生 心理 論理 教育學 教育史 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 教育實習

國語

講讀 文法 言語學大意 國文學史 書取 作文 詠歌 教授ニ關スル注意
漢文

講讀 教授ニ關スル注意

歴史

國史 東洋史 西洋史 教授ニ關スル注意

地理

人文 内外地理概説

習字

楷書 行書 草書 假名 教授ニ關スル注意

英語

講讀

音樂

唱歌

體操

體操 教練 遊戲 教授法

◎理科

修身

生徒心得 教育ニ關スル勅語ノ述義 戊申詔書ノ述義 實踐道德 日本道德史 本邦

法制ノ大要 國民道德ノ要領 倫理ノ要領 作法 教授ニ關スル注意

教育

生理及衛生 心理附論 教育學 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 教育實習

數學

算術 代數 幾何 三角法 數學雜論 家事經濟 教授ニ關スル注意

物理

力 物性 熱 音 光 電氣 磁氣 實驗 教授ニ關スル注意

化學

無機化學 有機化學 化學通論 實驗 教授ニ關スル注意

礦物及地質

礦物 地質 實驗 教授ニ關スル注意

植物

形態 生理 生態 分類 實驗 教授ニ關スル注意

動物

各論 通論 進化 實驗 教授ニ關スル注意

生理及衛生 衛生 實驗 育兒 教授ニ關スル注意

家事 住居 家具 衣服 食物 養老及看病 實習 教授ニ關スル注意

園藝 通論 蔬菜 花卉及果樹ノ栽培 盆栽及庭園ノ管理 學校園ノ管理 實習 教授ニ關

スル注意 圖書及手工 寫生畫ノ簡單ナル手工具ノ應用

英語 講讀 音樂 唱歌 體操

修身 生徒心得 教育ニ關スル勅語ノ述義 戊申詔書ノ述義 實踐道德 日本道德史 本邦

法制ノ大要 國民道德ノ要領 倫理ノ要領 作法 教授ニ關スル注意

教育 生理及衛生 心理附論 教育學 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 教育實習

家事 住居 家具 衣服 食物 養老及看病 育兒 家事經濟 實習 教授ニ關スル注意

裁縫 裁子方 縫ヒ方 繕ヒ方 編物 囊物 刺繡 教授ニ關スル注意

理科 物理及化學 生物 生理及衛生

數學 算術 代數 幾何

◎家事科

體操 教練 遊戲 教授法

修身

生徒心得 教育ニ關スル勅語ノ述義 戊申詔書ノ述義 實踐道德 日本道德史 本邦

法制ノ大要 國民道德ノ要領 倫理ノ要領 作法 教授ニ關スル注意

教育

生理及衛生 心理附論 教育學 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 教育實習

家事

住居 家具 衣服 食物 養老及看病 育兒 家事經濟 實習 教授ニ關スル注意

裁縫

裁子方 縫ヒ方 繕ヒ方 編物 囊物 刺繡 教授ニ關スル注意

理科

物理及化學 生物 生理及衛生

數學

算術 代數 幾何

修 身	學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年	
		第一學期	第二學期前半	第一學期	第二學期前半	第一學期	第二學期前半	第一學期	第二學期後半
三	第一學年								
二	第二學年								
二	第三學年								
二	第一學期								
四	第二學期前半								
一	第二學期後半								
	◎理科								
	英語ハ第三學年以上ニ於テハ隨意科目トス								
	教 育	二	三	三	三	三	三	二	二
	國 語	八	八	八	八	八	六	六	六
	漢 文	四	三	四	三	四	三	三	三
	歷 史	三	五	六	五	六	三	三	三
	地 理	二	二	二	一	二	一	一	一
	習 字	二	二	一	一	一	一	一	一
	英 語	三	三	三	三	三	三	三	三
	音 樂	二	一	一	一	一	一	一	一
	體 操	三	三	三	三	三	三	三	三
	時 數 計	三二	三三	三三	三三	三三	三三	二八	二八

修 身	學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年	
		第一學期	第二學期前半	第一學期	第二學期前半	第一學期	第二學期前半	第一學期	第二學期後半
三	第一學年								
二	第二學年								
二	第三學年								
二	第一學期								
四	第二學期前半								
一	第二學期後半								
	◎文科								
	第十一條、各學科ニ屬スル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ノ如シ								
	圖 畫								
	自在圖 用器畫 圖案								
	國 語								
	講 讀								
	書 取								
	作 文								
	習 字								
	英 語								
	講 讀								
	音 樂								
	唱 歌								
	體 操								
	教 練								
	遊 戲								
	教 授 法								

學科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年		
修身	三	二	二	二	二	二
教育	二	二	三	五	七	二
家事	三	五	六	六	六	二
裁縫	八	八	二	二	二	二
理科	二	四	四	四	四	二
數學	二	二	一	一	一	一
國語	二	二	二	一	一	一

◎家事科

物理、化學、礦物及地質、植物、動物、生理及衛生ハ其ノ各學年每週教授時數ノ通計
 フ變更セサル範圍内ニ於テ其ノ各學年每週教授時數ヲ増減スルコトヲ得
 家事、園藝ハ第三學年以上ニ於テハ其一ヲ選修セシムルモノトス

科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年			總計
教育	二	二	三	五	七	二	二
物理學	二	四	三	三	二	二	二
化學	二	四	三	三	二	二	二
礦物及地質	二	四	三	三	二	二	二
植物	二	三	三	二	二	二	二
動物	二	三	三	二	二	二	二
生理及衛生	一	一	二	二	二	二	一
家事	二	二	四	四	四	四	一
園藝	二	二	四	四	四	四	一
圖畫及手工	二	二	一	一	一	一	一
英語	三	二	一	一	一	一	一
音樂	二	一	一	一	一	一	一
體育	三	三	三	三	三	三	一
時數計	三二	三三	三三	三二	三二	三二	二八

英 語	音 樂	體 操	時 數
三	二	三	三二
二	一	三	三二
一	一	三	三二
一	一	三	三二
一	一	三	三二
一	一	三	二八

第五章 生徒定員、入學、在學及退學

第十二條 生徒ノ定員ハ三百名トス

第十三條 生徒ハ別ニ定ムル所ノ入學者選抜規則ニ依リ選抜ノ上毎年四月入學セシム

第十四條 前條ノ選抜ニ依リ入學スヘキ者ハ身上ニ關シ一切ノ事件ヲ引受クルニ足ルヘキ父兄若クハ親戚等ノ中ニ就キテ保證人ヲ定メ入學ノ際左式ノ保證書ヲ差出スヘシ

參錢收
入印紙
貼用紙

保 證 書

族 籍

年 月 日 生 名

右者今般御校ニ入學致候ニ付テハ御校御規則御命令等遵守可爲致ハ勿論本人
身上ニ關スル一切ノ事件ハ拙者引受ケ處辨可致候依テ保證書如件

年 月 日

住 所

族籍職業

本人トノ關係

氏 名

奈良女子高等師範學校長 氏名 殿

第十五條 保證人ノ住所遠隔ノ地ニアルトキハ奈良市又ハ其附近ノ地方（京都市、大阪市等ヲ含ム）ニ居住スル者ヲ以テ代理保證人トナスコトヲ得

前項ニヨリ代理保證人ヲ設ケントスルトキハ保證人及代理保證人連署ヲ以テ届出テ校長ノ承認ヲ受クヘシ

第十六條 生徒ハ本校寄宿寮ニ住居セシム
寄宿寮ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條 病氣其他已ムヲ得サル事故ノ爲メ引續キニケ月以上課業ニ缺席シ若クハ缺席スヘキ事情生シタルトキハ一箇年以内休學ヲ命ス但校長ニ於テ休學ノ必要ナシト認メタルトキハ本文ニ依ラサルコトアルヘシ

第十八條 在學中左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

一、疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者

二、學業成績不充分ニシテ成業ノ目途立タサル者

三、本校教育ノ旨趣ニ適セサル者

四、品行修マラサル者

第十九條 生徒在學中自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ在學中ノ授業費ヲ償還スヘシ但シ償還スヘキ授業費ノ全部又ハ一部ヲ文部大臣ヨリ免除セラレタルトキハ此限りニアラス前項授業費ハ月額金參圓トス但シ全月間休業又ハ休學中ノ分ハ之ヲ除算ス

第六章 學業成績評定及卒業

第二十一條 每學期一回以上期日ヲ定メテ生徒ノ學業ヲ試験ス但シ學科目ノ性質ニ依リ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十二條 每學年末ニ於テ平素ノ成績及試験ノ成績ヲ參按シテ學業成績ヲ評定シ及第落第ヲ定ム

第二十三條 第四學年ノ終リニ於テ學業成績及第ニ相當シ規定ノ學科課程ヲ修了シタリト認メタル者ニハ左式「甲號」又ハ「乙號」ノ卒業證書ヲ授與ス

甲號

卒業證書

族 籍

氏 名

年 月 日 生

校 印

右ハ當校何科ノ課程ヲ履修シ其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 氏 名 印

番 號

〔乙號〕

(第六條ニ該當スル者ニ授與スル分)

卒業證書

校印

族籍

氏

名

年月日生

右ハ當校何科ノ課程ヲ履修シ其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 氏 名 印

番 號

第七章 選科

第二十四條 女子師範學校、師範學校女子部又ハ高等女學校ノ卒業生ニシテ文科、理科、又ハ家事科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選ヒテ學修セントスル者アルトキハ教授上差支ナキ場合ニ限り選科生トシテ入學ヲ許ス

第二十五條 選科生ニハ必ス修身及教育ヲ兼修セシム

第二十六條 選科生ハ品行方正身體健全ニシテ入學試験ニ合格スルヲ要ス

前項入學試験ハ所選ノ學科目ノ學修ニ必要ナル學科目ニ就キ高等女學校卒業程度ニ於テ之ヲ行フ但シ本校ニ於テ教育ヲ受ケ相當ノ學力アリト認メタル者ニハ試験ヲ須キサルコトアルヘシ

入學試験ハ學年始ニ之ヲ行フ

第二十七條 選科生ノ志願者ニハ左式ノ願書及履歷書ヲ差出サシム

入 學 願 書

私儀 御校何科課程中何科目選修致度候ニ付選科生トシテ入學ノ儀御許可成下サレ度此段相願候也

年 月 日

本 籍 族 稱

現住所 職 業

戶主(何某何女姉妹等)

奈良女子高等師範學校長 氏 名 殿

名 印

履 歷 書

本籍道廳府縣市郡區町村大字番地
現住所道廳府縣市郡區町村大字番地
寄留或ハ何某方同居等
道廳府縣華士族平民戶主何某何女
或ハ姉妹等

氏 名
年月日生

戶主職業 何
父 職業 何
母 職業 何

一學業
何年何月高等小學校第何學年修了又ハ修業年限何箇年ノ課程卒業何年何月
ヨリ何年何月マテ何所何某ニ就キ又ハ何學校ニ入り何學科修業
何年何月 何府縣師範學校ニ入り何學年ニ編入セラレ何年何月本科(修業年限)卒
何高等女學校

業或ハ何年何月何々ニ付何高等女學校ニ轉學何學年ニ編入セラレ何年何月
本科(修業年限)卒業或ハ何年何月何々ニ付半途退學更ニ何年何月何高等女學
校ニ入り何學年ニ編入セラレ何年何月本科(修業年限)卒業
何年何月何高等女學校何科入學何年何月修了又ハ退學或ハ現今在學
何年何月ヨリ何年何月マテ何所何某ニ就キ何學科修業

一職業
何年何月何日道廳府縣ニ於テ訓導拜命何市郡區町村何學校ニ在勤何年何月
何日依願退職或ハ現今在勤等
何年何月何日何官職拜命或ハ何業ニ從事何年何月何日依願免官或ハ廢業或
ハ現今在職從事等

一賞罰
何年何月何所ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ク等
右之通ニ候也
年 月 日
右 氏 名 印

備考 學校以外ニ於テ學習シタル學科目ハ其教科書及修了セシ程度ヲ記入スヘシ

第二十八條 選科生在學期間ハ二箇年以上四箇年以内トス

第二十九條 選科生ハ毎月授業料トシテ金參圓ヲ當月一日ヨリ五日以内ニ納ムヘシ但シ授業休止全月ニ亘ル月及休學中ノ分ハ之ヲ徴收セス

第三十條 選科生ノ課業ハ本科生ト共ニ之ヲ授ク

第三十一條 所選科目ノ課程ヲ修了セル者ニハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書

族籍

氏名

年月日生

校印

右ハ當校選科生トシテ何科ノ課程中何々科目ヲ選修シ其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

番號

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 氏名 印

第三十二條 第七條乃至第十一條、第十四條、第十五條、第十七條、第十八條、第二十一條及第二十二條ハ之ヲ選科生ニ適用ス

附則

第三十三條 本規則ハ大正五年四月一日ヨリ實施ス

大正二年度以前入學シタル生徒ニ課スヘキ學科課程及其ノ學資ニ關シテハ從前ノ規定ヲ適用ス但シ學科課程ハ適宜斟酌スルコトアルヘシ

一、奈良女子高等師範學校研究科規則

大正二年二月制定

第一條 本校所設ノ學科目中某科目ヲ專攻セントスル者ノ爲ニ研究科ヲ設ク

第二條 研究科ノ修業年限ハ一箇年以上二箇年以内トス

第三條 研究科生タラントスル者ハ本校卒業生若クハ之ト同等ノ學力ヲ有スト認メラレタル者タルヘシ

第四條 研究科入學志願者ハ左記書式ニ依リ願書ニ履歷書及身體檢查書ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ出願スヘシ

本校卒業生ニシテ卒業後直ニ研究科ニ入學ヲ志願スル者ハ履歷書及身體檢查書ヲ添附ス

ルヲ要セス

保證人ハ本人身上ニ關シ一切ノ事件ヲ引受クルニ足ルヘキ父兄若クハ親戚等ノ中ニ就キ之ヲ定ムヘシ

第五條 研究科入學ハ校長ニ於テ入學志願者ノ人物、學力及研究科目ヲ適當ト認メ且ツ設備等差支ナシト認メタル場合ニ限り之ヲ許ス

第六條 研究科生ハ校長ノ指定スル教官ノ指導ニ由リ研究ニ從事スヘシ

第七條 研究科生ニハ學資トシテ在學中毎月金拾五圓以内ヲ支給スルコトアルヘシ

第八條 研究科生ニハ研究ノ結果ヲ審査シ相當ト認メタルトキハ研究證明書ヲ授與ス

第九條 本校規則第二十一條、第二十三條第一項、第二十四條乃至第二十七條ハ之ヲ研究科生ニ準用ス

(書式)

入學願書

私儀某學科目研究志望ニ付何年間御校研究科ニ入學致度候間御許可被成下度此段相願候也

年 月 日	族 籍 (寄留者ハ寄留籍ヲ併記スヘシ)
	戸主何某 <small>幾女姉妹等</small> (本人戸主ニアラサレハ)
	本 人 何 某 印
	族 籍
	住所、職業、本人トノ續柄
	保證人 何 某 印

奈良女子高等師範學校長 何 某 殿

三、本校附屬高等女學校規則

(明治四十四年七月制定)

第一章 目的

第一條 附屬高等女學校ハ女子ニ高等普通教育ヲ施シテ其ノ方法ノ研究ニ資シ且本校生徒ヲシテ之ヲ實習セシムル所トス

第二章 學科及修業年限

第二條 附屬高等女學校ニ本科及補習科ヲ置ク

第三條 本科ノ學科目ハ修身、國語、英語、歴史、地理、數學、理科、圖畫、家事、裁縫

園藝、音樂、體操トス

前項學科目ノ内英語ハ隨意科目トス

第四條 補習科ノ學科目ハ修身、國語、漢文、英語、數學、圖畫、家事、教育、裁縫、園藝、音樂、體操トス

前項學科目ノ内漢文、英語、數學、圖畫、園藝、音樂ハ隨意科目トス

第五條 前二條ノ學科目中生徒身體ノ情況ニ由リ學修ニ適セスト認ムル學科目ハ之ヲ其ノ生徒ニ課セサルコトアルヘシ

第六條 修業年限ハ本科四箇年補習科一箇年トス

第三章 學年學期及休業

第七條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第八條 學年ヲ分チテ三學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

第九條 休業日ハ左ノ如シ

祝日 大祭日

皇后陛下御誕辰

學校記念日

日曜日

春季休業 三月二十五日ヨリ四月七日マテ

夏季休業 七月二十一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第四章 學科程度及教授時數

第十條 本科及補習科ノ程度及每週教授時數ハ左ノ如シ

本科課程表

學科目	學年	
	每週時數	第一學年
修身	二	生徒心得 教育勅語 述義法
國語	六	習作講 字文讀
學科目	學年	
	每週時數	第二學年
修身	二	戊申詔書 述義法
國語	六	前學年ノ續
學科目	學年	
	每週時數	第三學年
修身	二	修養訓話 道德ノ要領法
國語	五	習作文及文 字法讀
學科目	學年	
	每週時數	第四學年
修身	二	前學年ノ續
國語	五	前學年ノ續

本校規則細則類

補習科課程表

隨意科目ヲ修メサル者ノ爲ニハ其ノ教授時數ヲ他ノ學科目ニ加フルコトヲ得
 國語及裁縫ノ每週教授時數ハ一學年間各學科目ノ教授總時數ヲ變更セサル範圍内ニ於テ
 季節ニ由リ國語ハ每週一時裁縫ハ每週二時ヲ限リ之ヲ増減スルコトヲ得

學科	科目	時數	週	課	程
園藝	計	三	一		
	體操	三	一		
	音樂	二	一		
	遊藝	三	一		
音樂	計	三	一		
	普通體操	三	一		
	單音唱歌	二	一		
	輪唱	一	一		
體操	計	三	一		
	普通體操	三	一		
	單音唱歌	二	一		
	輪唱	一	一		
計	計	三	一		
	普通體操	三	一		
	單音唱歌	二	一		
	輪唱	一	一		

本校規則細則類

裁縫	家事	圖書	理科	數學	地理	英語
六	三	二	二	二	三	三
普通ノ衣類ノ裁縫方、裁方、繕方、裁方、		寫生、臨案、寫生、寫生、	植物、動物、	算術	日本、日本、日本、日本、	發音、綴字、讀方及譯文、書
六	三	二	二	二	三	三
前學年ノ續		前學年ノ續	礦物、化學、	前學年ノ續	世界、日本、日本、	讀方及譯文、書
六	三	二	二	二	二	三
前學年ノ續	家内ノ整理及衛生、飲食物ノ調理、家事事實	前學年ノ續	礦物、化學、生理及衛生、	前學年ノ續	世界、外國、	讀方及譯文、書
六	三	二	二	二	三	三
前學年ノ續	育兒、養老、看病、家事經濟、家事事實	前學年ノ續	生理及衛生、礦物、化學、	前學年ノ續	日本、外國、	前學年ノ續

修	身	二	修養訓話、作法
國	語	三(五)	講讀、作文、習字
漢	文	二	講讀
英	語	三	讀方及譯解、話方及作文、書取
數	學	二	算術、代數初步
圖	畫	一	寫生畫、臨畫、考案畫
家	事	三	家事一般ノ補習
教	育	二	家庭教育ノ方法
裁	縫	六	普通ノ衣類ノ縫方、裁方、繕方、編物
園	藝	一	花卉、蔬菜、果樹等
音	樂	二	唱歌、樂器練習(課外隨意)
體	操	二	普通體操遊戲
計		一八乃至三一	

備考

每週教授時數中國語ハ生徒ノ希望ニ依リテ二時ヲ増スコトヲ得
 隨意科目ヲ修メサル者ノ爲ニハ其ノ教授時數ヲ他ノ學科目ニ加フルコトヲ得
 國語及裁縫ノ每週教授時數ハ一學年間各學科目ノ教授總時數ヲ變更セサル範圍内ニ
 於テ季節ニ由リ國語ハ每週一時裁縫ハ每週二時ヲ限リ之ヲ増減スルコトヲ得
 第十一條 教科用圖書ハ別ニ之ヲ定ム

第五章 生徒定員入學轉學在學及退學

第十二條 生徒ノ定員ハ本科約三百六十名補習科約四十名トス
 第十三條 本科第一學年ニ入學スル者ハ年齡滿十二年以上ニシテ尋常小學校ヲ卒業シタル
 者タルヘク本科第二學年以上ニ入學スル者ハ右ニ準シ年齡學力入學セントスル學年ニ相
 當スル者タルヘシ
 第十四條 入學ハ每學年ノ始ニ於テ之ヲ許ス
 第十五條 入學ヲ願フ者ハ父母又ハ親族中ノ一人保護者トナリ願書(書式第一號)ヲ差出ス
 ヘシ
 第十六條 本科第一學年ニ入學ヲ願フ者ニハ國語及算術ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依

リ其ノ學力ヲ試驗シ本科第二年學以上ニ入學ヲ願フ者ニハ其ノ入學セントスル學年以下ノ學科程度ニ就キ入學ニ必要ナル學力ノ有無ヲ試驗シ年齡學力入學セントスル學年ニ相當スト認ムル者ニ就キ入學ヲ許スヘキ定員ノ範圍内ニ於テ最適當ト認ムル者ヲ選抜シテ入學セシム

第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學ノ當日ニ其ノ保護者ヨリ保證書(書式第二號)ヲ差出シ入學料金貳圓ヲ納ムヘシ

第十八條 他ノ高等女學校ノ生徒ニシテ己ムヲ得サル事情ノタメ該學校長ノ紹介ニ由リ當校ニ轉學セントコトヲ願フ者アルトキハ其ノ修業中ノ學年以下ノ學科程度ニ就キ其ノ學力ヲ試験シ入學セシムヘキ學年ノ生徒定員ノ範圍内ニ於テ時期ニ拘ハラズ轉學ヲ許スコトアルヘシ

第十五條及第十七條ノ規定ハ前項轉學者ニ準用ス

第十九條 隨意科目ヲ學修セント欲スル者ハ入學ノ際及前學年ノ終ニ於テ保護者ヨリ申出ツヘシ

第二十條 生徒ハ授業料金貳圓ヲ毎月始業ノ日ヨリ七日以内ニ於テ指定ノ期日ニ納ムヘシ八月及全月間授業ヲ休止シタル月ハ授業料ヲ納ムルヲ要セス

休學期間中全ク出席セサル月ノ授業料ハ前項ニ準ス

第二十一條 保護者ノ住所遠隔ノ地ニ在ルトキハ奈良市又ハ其ノ附近ノ地ニ居住スル者ヲ以テ代理保護者ト爲シ連署シテ届出ツヘシ

第二十二條 生徒ハ其ノ保護者若クハ代理保護者死去シ又ハ其ノ資格消滅シタルトキハ更ニ保護者若クハ代理保護者ヲ定メ其ノ旨届出テ該保護者ハ遲滞ナク保證書ヲ差出スヘシ
第二十三條 當校ニ於テ保護者又ハ代理保護者ヲ適當ナラスト認ムルトキハ變更セシムルコトアルヘシ

第二十四條 入學願書ニ記載セル住家以外ノ家ニ寄宿シテ通學セントスル者ハ保護者ヨリ其ノ事由ヲ具シ當校ノ承認ヲ受クヘシ
寄宿所ヲ變更セントスルトキハ亦前項ニ準ス

第二十五條 疾病其他ノ事故ニ依リ缺席、遅刻、早退スルトキ又ハ其ノ同居人傳染病ニ罹リタルトキハ保護者又ハ代理保護者ヨリ其都度届出ツヘシ

第二十五條ノ二 疾病其他己ムヲ得サル事故ノ爲引續キニケ月以上缺席ヲ要スル場合ニ於テ保護者ヨリ休學ヲ願出ツル時ハ一ケ年以内ノ期間ニ於テ許可スルコトアルヘシ

第二十六條 己ムヲ得サル事情ニ由リ他ノ高等女學校へ轉學セント欲スル者ハ其事情ヲ詳

記シ保護者ヨリ願出ツヘシ

當校ニ於テ前項ノ事由ヲ正當ナリト認ムルトキハ轉學先學校ニ紹介ノ手續ヲナスヘシ

第二十七條 疾病其他ノ事故ニ依リ退學セント欲スル者ハ其ノ事實ヲ詳記シ保護者ヨリ願出ツヘシ

第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

一、性行不良ニシテ他ノ生徒ノ教育上妨害トナルヘキ虞アル者

二、學業ノ進歩不充分ニシテ一般生徒ノ教授上著シク妨害トナル者

三、前二號ノ外當校教育ノ趣旨ニ適合セザル者

第二十九條 授業料ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受クルモ猶納付セザル者ハ其ノ登校ヲ停止シ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第六章 學業成績査定及卒業

第三十條 學期末ニ於テ其ノ學期間ノ學業成績ヲ査定シ學年末ニ於テ各學期ノ成績ヲ審按シ各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認定ス

第三十一條 本科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書(書式第三號)補習科ノ課程ヲ修了シタル者ニハ修業證書(書式第四號)ヲ授與ス

第七章 寄宿寮

第三十二條 家庭遠隔ノ地ニ在リテ學校附近ニ適當ノ寄宿所ナキ生徒其他特別ノ事情アル生徒ノ爲メニ寄宿寮ヲ置ク

第三十三條 寄宿生ノ定員ハ七十二名トス

第三十四條 寄宿寮ニ入ラント欲スル者ハ保護者ヨリ其事由ヲ具シ願出ツヘシ寄宿生ニシテ退寮セント欲スル者亦前項ニ準ス

書式第一號

入學願

族籍何某幾女、姉妹又ハ戸主

何

某

一 出生年月日

二 出生地

三 原籍地

四 居住地

五 戶主ノ氏名及職業

(戶主以外ノ者ノ家ニ居住スルトキハ其家ノ主人ノ氏名職業併記)

六 従前ノ教育

大正何年何月何地何學校ニ於テ第何學年修了又ハ卒業

七 賞 罰

右ノ者今般御校附屬高等女學校何科第何學年ニ入學爲致度候ニ付御許可相成度此段相願候也

住 所

族籍職業本人トノ關係

保護者

何

某 印

年 月 日

奈良女子高等師範學校長

殿

書式第二號

保 證 書

族籍何某幾女、姉妹又ハ戶主

何

某

年 月 日 生

參 錢
收 入
印 紙

右者今般御校附屬高等女學校ニ入學許可相成候ニ付テハ御校御規則御命令等遵守可爲致ハ勿論本人身上ニ關スル一切ノ事件ハ拙者引受處辨可仕候依而證書如件

尙向後轉居改印等致候節ハ直チニ御届可申候也

住 所

族籍職業本人トノ關係

何

某 印

年 月 日

奈良女子高等師範學校長

殿

書式第三號

卒業證書

校印

(隨意科目
英語併修)

族籍

何

某

年月日生

右ハ當校附屬高等女學校ノ本科ヲ卒業セリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵何 某 印

番號

書式第四號

修業證書

校印

何何
々々

族籍

何

某

年月日生

右ハ當校附屬高等女學校補習科ノ課程中頭書ノ科目ヲ修了セリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵何 某 印

番號

四、本校附屬實科高等女學校規則

大正五年四月制定

第一章 目的

第一條 附屬實科高等女學校ハ家政ヲ主トスル高等普通教育ヲ施シテ其ノ方法ノ研究ニ資シ且本校生徒ヲシテ之ヲ實習セシムル所トス

第二章 學科

第二條 附屬實科高等女學校ニ本科及補習科ヲ置ク

第三條 修業年限ハ本科ハ四箇年補習科ハ一箇年トス

第四條 本科ノ學科目ハ修身、國語、歴史及地理、算術、理科及家事、裁縫、圖畫、唱歌實業、躰操トス

前項學科目ノ内實業ハ隨意科目トス

第五條 補習科ノ學科目ハ修身、國語、理科及家事、裁縫、實業、教育トス

前項科目ノ中國語、實業、教育ハ隨意科目トス

第六條 前二條ノ學科目中生徒身體ノ情況ニ由リ學習ニ適セスト認ムル學科目ハ之ヲ其ノ生徒ニ課セサルコトアルヘシ

第七條 本科及補習科ノ課程及每週教授時數ハ左表ノ如シ

課程及每週教授時數表

學科目	每週教授時數	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	補習科
修身	二	道德ノ要旨 作法	道德ノ要旨 作法	道德ノ要旨 作法	道德ノ要旨 作法	道德ノ要旨 作法
國語	六	講義 作文 習字	講義 作文 習字	講義 作文及文法 習字	講義 作文及文法 習字	講義 習字
歴史及地理	三	日本歴史ノ大要 外國地理ノ大要	日本歴史ノ大要 日本地理ノ補習			
算術	二	整數及小數 諸等算	約數及倍數 分數 珠算	比 步 合 算例	前學年ノ積算 求	

本校規則細則類

實業	唱歌	圖畫	裁縫	理科及家事
二 手 簡易ナル 製作圖	一 單音唱歌	一 自在畫	一〇 普通ノ衣類 ノ縫方及繕 ヒ方	三 植物、動物、 礦物及自然 ノ現象、通 常ノ物理、 化學、物理 學上ノ現象 元素及化合 物、簡易ナ ル器械ノ構 造及作用
二 手 簡易ナル 製作圖	一 單音唱歌	一 自在畫	一〇 普通ノ衣類 ノ縫方及繕 ヒ方	三 自然ノ現象 通常ノ物理 化學上ノ現 象、元素及 化合物、器 械ノ構造及 用身ノ生理 ノ構造及衛 生ノ大要
二 園 花卉蔬菜ノ 栽培	一 單音唱歌 ノ複	一 自在畫	一四 普通ノ衣類 ノ縫方及繕 ヒ方、裁方 ノ使用	四 前學年ノ續 家内ノ整理 家事衛生ノ 飲食物ノ調 理、習
二 園 花卉蔬菜ノ 栽培	一 單音唱歌 ノ複	一 自在畫	一四 普通ノ衣類 ノ縫方及繕 ヒ方、裁方 ノ使用	四 前學年ノ續 幼兒看護、 養老及看病 家事經濟、 家計簿記、 實習
二 園 藝ノ補習			一八 裁縫ノ補習	四 家事ノ補習

七〇

計	體操	教育
三三三	三 遊教體 戲練操	
三三三	三 遊教體 戲練操	
三四	三 遊教體 戲練操	
三四	三 遊教體 戲練操	
三〇		二 家庭教育ヲ 主トスル教 育法大要

裁縫及實業ノ每週教授時數ハ一學年各學科目ノ教授總時數ヲ變更セサル範圍内ニ於テ
季節ニ由リ之ヲ増減スルコトヲ得
夏季休業前後ニ於テハ便宜各學科目ノ每週教授時數ヲ減縮スルコトヲ得
隨意科目ヲ學習セサル者ニハ其ノ學科目ノ教授時數ヲ裁縫科ノ教授時數ニ加フルコトヲ
得

第八條 教科用圖書ハ別ニ之ヲ定ム
第九條 正課時間外ニ於テ生徒ノ志望ニヨリ茶儀生花等ヲ教授スルコトアルヘシ
第三章 學年、學期及休業日
第十條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

本校規則細則類

七一

第十一條 學年ヲ分チテ三學期トス四月一日ヨリ八月三十一日マテ第一學期トシ九月一日ヨリ十二月三十一日マテ第二學期トシ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテ第三學期トス

第十二條 休業日ハ左ノ如シ

祝日、大祭日

皇后陛下御誕辰

學校記念日

春日若宮祭

日曜日

春季休業 三月二十五日ヨリ四月七日マテ

夏季休業 七月二十一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第四章 編制、入學、在學及退學

第十三條 生徒ノ定員ハ本科約百八十名補習科約二十名トシ同一學年ノ生徒ヲ一學級トシテ之ヲ五學級ニ編制ス

第十四條 每學年ノ始ニ於テ本科第一學年及補習科ニ入學ヲ許可ス

但缺員アル場合ニハ臨時各學年ニ補缺入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十五條 每學年ノ始ニ本科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ニシテ尋常小學校ヲ卒業シタル者タルヘシ

缺員アル場合臨時入學スルコトヲ得ル者ハ前項ニ準シ其ノ年齢及學力入學セントスル學年ニ相當スル者タルヘシ

第十六條 入學志願者ハ父母若ハ親族中ノ一人ヲ保護者トシ其ノ保護者ヨリ願書(書式第一號)ヲ差出スヘシ

第十七條 本科第一學年入學志願者ニハ國語、算術及裁縫ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リテ其ノ學力ヲ試験ス

補缺入學志願者ニハ入學セシムヘキ學年ノ課程ヲ履修スルニ必要ナリト認ムル學力ノ有無ヲ試験ス但當校ヲ退學シタル者ニシテ退學後一箇年以内ニ入學ヲ志願シタルトキハ試験ニ依ラスシテ原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十八條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學ノ當日ニ其ノ保護者ヨリ入學料金貳圓ヲ納ムヘシ

第十九條 他ノ高等女學校ノ生徒ニシテ己ムヲ得サル事情ノ爲當校ニ轉學センコトヲ願フ

者ハ其ノ在學スル學校長ノ紹介ニ由ルヘシ

前項ノ願出アル場合ニハ出願者修業中ノ學年以下ノ學科課程ニ就キ其ノ學力ヲ試驗シタル上入學セシムヘキ學年ノ生徒定員ノ範圍内ニ於テ時期ニ拘ハラス轉學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十六條及第十八條ノ規定ハ前項轉學者ニ準用ス

第二十條 隨意科目ノ學習ヲ缺カントスル者ハ其ノ旨學年ノ始ニ保護者ヨリ申出ツヘシ

第二十一條 保護者ノ住所遠隔ノ地ニ在ルトキハ奈良市又ハ其ノ附近ノ地ニ居住スル者ヲ以テ代理保護者ト爲シ連署シテ届出ツヘシ生徒ハ其ノ保護者若ハ代理保護者死去シ若ハ其ノ資格消滅シタルトキハ更ニ保護者若ハ代理保護者ヲ定メ連署ノ上届出ツヘシ當校ニ於テ保護者若ハ代理保護者ヲ適當ナラスト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第二十二條 入學願書ニ記載セル住家以外ノ家ニ寄宿シテ通學セントスル者ハ保護者ヨリ其ノ事由ヲ具シ當校ノ承認ヲ受クヘシ
寄宿所ヲ變更セントスルトキ亦前項ニ準ス

第二十三條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ缺席、遲刻若ハ早退セシメントスルトキ又ハ其ノ同

居人傳染病ニ罹リタルトキハ保護者若ハ代理保護者ヨリ其ノ都度届出ツヘシ

第二十三條ノ二 疾病其他己ムヲ得サル事故ノ爲メ引續キ二ヶ月以上缺席ヲ要スル場合ニ於テ保護者ヨリ休學ヲ願出ツルトキハ一ケ年以内ノ期間ニ於テ許可スルコトアルヘシ
第二十四條 己ムヲ得サル事情ニ由リ他ノ高等女學校ニ轉學セント欲スル者ハ其ノ事情ヲ詳記シ保護者ヨリ願出ツヘシ

第二十五條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ退學セント欲スル者ハ其ノ事由ヲ明記シ保護者ヨリ願出ツヘシ

第二十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

一、性行不良ニシテ他ノ生徒ノ教育上妨害トナルヘキ虞アル者

二、正當ノ理由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者若ハ出席常ナラサル者

第二十七條 授業料ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受クルモ猶納付セサル者ハ其ノ出校ヲ停止シ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第五章 修業及學業

第二十八條 學期末ニ於テ其ノ學期間ノ學業成績ヲ考查シ學年末ニ於テ其ノ學年ニ於ケル各學期ノ成績ヲ審按シテ學年課程ノ修了ヲ認定ス

本科ノ最終學年末ニ於テ全學科ノ卒業ヲ認定ス

第二十九條 本科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書(書式第貳號)ヲ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書(書式第三號)ヲ授與ス

第六章 授業料

第三十條 生徒ハ授業料金壹圓五拾錢ヲ毎月十一日ヨリ三日以内ニ納ムヘシ
八月若ハ學校ノ都合ニ由リ全月休業スルトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徵收セス
休業期間中全ク出席セサル月ノ授業料ハ前項ニ準ス

第七章 附則

第三十一條 本規則ハ大正五年四月一日ヨリ實施ス

第三十二條 當校開始ノ際ニ於テハ奈良市立奈良實科高等女學校廢止ノ際同校各學年ニ在學シタル生徒ニシテ入學ヲ願フ者ヲ入學セシメ之ヲ各當該學年ニ編入ス此場合ニ於テハ第十七條第二項及第十八條ノ規定ヲ適用セス

書式第一號

入學願

族稱何某幾女姉妹又ハ戶主

一、出生年月日

何

某

二、出生地

三、原籍地

四、居住地

五、戶主ノ氏名及職業

(戶主以外ノ者ノ家ニ居住スルトキハ其ノ家ノ主人ノ氏名職業併記)

六、從前ノ教育

大正何年何月何地何學校ニ於テ第何學年修了又ハ卒業

七、賞罰

右ノ者今般御校附屬實科高等女學校第何學年(補習科)ニ入學爲致度御許可相成候上ハ御校規則御命令遵守可爲致ハ勿論本人身上ニ關スル一切ノ事件ハ拙者(及代理保護者)ニ於テ引受處辨可仕候右御願ニ及候也

住所

族稱職業本人トノ關係

年月日

保護者 何

某 印

奈良女子高等師範學校長

殿

書式第二號

卒業證書

校印

族籍

何

某

年月日生

右ハ當校附屬實科高等女學校ノ學科ヲ卒業セリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 何 某 印

番號

書式第三號

修業證書

校印

族籍

何

某

年月日生

右ハ當校附屬實科高等女學校補習科ノ課程ヲ修了セリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 何 某 印

番號

五、本校附屬小學校規則

明治四十五年三月制定

第一條 附屬小學校ハ兒童ニ小學教育ヲ施シテ其ノ方法ノ研究ニ資シ且ツ本校生徒ヲシテ之ヲ實習セシムル所トス

第二條 附屬小學校ニ尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ併置ス

第三條 尋常小學校ノ修業年限ハ六箇年高等小學校ノ修業年限ハ二箇年トス

第四條 尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、圖書、手工、唱歌、體操トシ女兒ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ

高等小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、圖書、手工、唱歌、體操トシ女兒ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ

第五條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六條 學年ヲ分チテ三學期トス四月一日ヨリ八月三十一日マテヲ第一學期トシ九月一日ヨリ十二月三十一日マテヲ第二學期トシ一月一日ヨリ三月三十一日マテヲ第三學期トス

第七條 休業日ハ左ノ如シ

祝日 大祭日

皇后陛下御誕辰

學校記念日

春日若宮祭

日曜日

春季休業 三月二十五日ヨリ四月七日マテ

夏季休業 七月二十一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第八條 各學年ノ教授ノ程度及每週教授時數ハ別表ノ如シ

第九條 教科用圖書ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 兒童ノ定員ハ尋常小學校約六百名高等小學校約百名トス

第十一條 尋常小學校ノ兒童ハ之ヲ十二學級ニ編制シ高等小學校ノ兒童ハ之ヲ二學級ニ編制ス

第十二條 授業料ハ尋常小學校ニ於テハ之ヲ徴收セス高等小學校ニ於テハ毎月金五拾錢トシ毎月十一日ヨリ三日以内ニ之ヲ徴收ス

八月及授業休止全月ニ亘リタル月ハ授業料ヲ徴收セス

右ハ當校附屬小學校ニ於テ高等小學校第何學年ノ課程ヲ終了セシコトヲ證ス

校印

修業證書

何

年月日生

某

書式第壹號

計	裁縫	體操	唱歌
二二		四 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌
二四		四 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌
二八		三 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌
二女二男 九八	二 方類通 ノ常針 縫ノ方 ヒ衣	三 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌
三女二男 〇九	三 方方類通 ノ縫ノ衣 ヒヒ	三 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌
三女二男 〇九	三 方方類通 ノ縫ノ衣 ヒヒ	三 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌
三女三男 二〇	五 方方類通 ノ縫ノ衣 ヒヒ	三 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌
三女三男 二〇	五 方方類通 ノ縫ノ衣 ヒヒ	三 遊教體 戲練操	平易ナル 單音唱歌

手工	圖畫	理科	地理	日本歴史
一 細工 簡易ナル	一 形體 簡單ナル			
一 細工 簡易ナル	一 形體 簡單ナル			
二 細工 簡易ナル	一 形體 簡單ナル			
女一 細工 簡易ナル	男二 形體 簡單ナル			
女一 細工 簡易ナル	男二 形體 簡單ナル	二 象學ノ象自物植 上物、然、礦物、 ノ理通ノ物、 現化常現及動	三 日本地理 ノ大要	三 日本歴史 ノ大要
女一 細工 簡易ナル	男二 形體 簡單ナル	二 象學ノ象自物植 上物、然、礦物、 ノ理通ノ物、 現化常現及動	三 日本地理 ノ大要	三 日本歴史 ノ大要
女二 製作 簡易ナル	男四 體諸般ノ形	女三 ノ女生身造器簡及象學ノ象自物植 ノ大生理作用ノナ合元ノ理通ノ物、 事要衛人構ル物素現化常現及動	三 外國地理 ノ大要	三 日本歴史 ノ大要
女二 製作 簡易ナル	男四 體諸般ノ形	女三 ノ女生身造器簡及象學ノ象自物植 ノ大生理作用ノナ合元ノ理通ノ物、 事要衛人構ル物素現化常現及動	三 外國地理 ノ大要	三 日本歴史 ノ大要

年 月 日

奈良女子高等師範學校

書式第貳號

卒業證書

校 印

何

某

年月日生

右ハ當校附屬小學校ニ於テ尋常小學校ノ全教科ヲ卒業セシコトヲ證ス

年 月 日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 何 某 印

番 號

書式第參號

學 習 證 書

校 印

何

某

年月日生

右ハ當校附屬小學校ニ於テ尋常高等小學校何々學年編制ノ學級ニ於テ一箇年間課

業ヲ學習セシコトヲ證ス

年 月 日

奈良女子高等師範學校

本校規則細則類

六、本校附屬幼稚園規則

明治四十五年七月制定

- 第一條 奈良女子高等師範學校附屬幼稚園ハ幼兒ニ適當ナル保育ヲ施シテ其方法ノ研究ニ資シ且本校生徒ヲシテ之ヲ實習セシムル所トス
- 第二條 附屬幼稚園ノ保育課目ハ遊戲、唱歌、談話、手技トス
- 第三條 幼兒ノ年齢ハ大約滿四歲ヨリ小學校ニ就學スルマテトス
- 第四條 幼兒ノ定員ハ凡ソ百二十名トス
- 第五條 一箇年ヲ分チテ三期トス
 - 第一期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル
 - 第二期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル
 - 第三期 翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル
- 第六條 保育ノ時數ハ每週二十三時トス但夏季休業ノ前後各三週以内ハ十五時迄減少スルコトアルヘシ
- 第七條 休業日ハ左ノ如シ
 - 祝日 大祭日

皇后陛下御誕辰

學校記念日

春日祭

春月若宮祭

日曜日

春季休業 三月二十五日ヨリ三月三十一日マテ

夏季休業 七月二十一日ヨリ九月十日マテ

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第八條 入園期ハ毎年四月トス但缺員アルトキハ臨時ニ入園ヲ許スコトアルヘシ

第九條 幼兒ヲ入園セシメントスル父母又ハ後見人ハ自ラ保護者トナリ左式ノ履歷書ヲ調製シ入園希望ノ旨ヲ申出ツヘシ

父母又ハ後見人奈良市内ニ居住セサルトキハ奈良市在住者ヲ以テ代理保護者ト爲スコトヲ要ス但奈良市外居住者ト雖モ奈良市居住者ニ準シ取扱フコトアルヘシ

履 歷 書	幼 兒 姓 名
-------	---------

本校規則細則類

一 原籍 北海道府何市區町村何番地華族何士族何某兄弟等

一 住所 奈良市何町何番地何某内平民

一 職業 戶主ノ職業 (何官何商何社ノ何役等)
父ノ職業
母ノ職業
後見人及代理保護者ノ職業
戶主又ハ父母以外ノ者ノ家ニ寄寓スルトキハ其家ノ主人ノ氏名職業ヲ併記スヘシ

一 保護者トノ關係

一 出生地

一 出生年月日

一 生後ノ營養品
母乳 何年何箇月 乳母ノ乳 何年何箇月
牛乳 何年何箇月 乳粉 何年何箇月
何々 何年何箇月

一 養育セシ場所 自宅 乳母ノ家等

一 痘 種痘第一期完了年月日 (痘瘡經過年月日)

一 生來著シキ疾病ニ罹リシコトノ有無及ヒ病名病狀等

一 両親ノ年齢及ヒ健否

一 兄弟姉妹ノ數年齢及ヒ健否

右之通りニ候也

年 月 日 住 所 保護者 何 某 印

第十條 保育料ハ幼兒一人ニ付壹箇月金壹圓トス

定時若クハ臨時ノ休業全月ニ亘ルトキハ保育料ヲ徵收セス缺席全月ニ亘ル幼兒ノ保育料モ亦之ニ準ス

第十一條 保育料ハ毎月十一日ヨリ三日以内ニ納ムヘシ

第十二條 幼兒又ハ保護者ノ轉居シタルトキハ其旨直ニ保護者ヨリ届出ツヘシ

第十三條 幼兒缺席スルコト三日ヲ超ユルトキハ保護者ヨリ其事由ヲ届出ツヘシ
但傳染病ニ罹リタルトキハ其病狀ヲ届出ツヘシ

第十四條 保護者ニ於テ幼兒ヲ退園セシメントスルトキハ其理由ヲ具シテ申出ツヘシ

第十五條 保護者ハ本園規則ヲ心得幼兒ノ身上ニ關スル一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス

七、入學者選抜規則

大正三年九月制定

第一條 本校ニ入學スル者ハ師範學校又ハ高等女學校本科ノ優等卒業者ニシテ左記各號ノ要件ヲ具備シ地方長官ヨリ薦舉セラレタル者タルヲ要ス但師範學校又ハ高等女學校本科在學中ノ優等生徒ニシテ該學校長ニ於テ現學年内ニ卒業スヘシト認メタル者ハ本文卒業者ニ準ス

- 一、資性善良操行端正ニシテ身體健全ナル者
- 二、卒業後敎職ニ從事セントスル志操堅確ナル者
- 三、年齢二十二年未滿ニシテ夫ヲ有セサル者

第二條 師範學校又ハ高等女學校ノ優等卒業者又ハ優等生徒ト認ムヘキ者ハ其ノ學業成績本科最終學年及其前學年ニ於テ其學級ノ及第者中首位ヨリ數ヘテ全員ノ十分ノ一ニ至ルマテノ順位ニ在ル者トス但生徒ニアリテハ薦舉ノ當時ニ於テ判定ヲ了リタル現學年最近ノ成績ヲ以テ假リニ最終學年ノ成績ト見做ス

第三條 前二條但書ニ依リ薦舉セラレタル師範學校又ハ高等女學校本科在學中ノ優等生徒ニシテ該學年内ニ卒業セサリシトキ又ハ該學年末ノ成績第二條本文ニ該當セサリシトキ

ハ其薦舉ノ効力ヲ失フモノトス

第四條 入學志願者ノ身體健全ト認ムヘキ者ハ左記各號ニ該當セサル者タルコトヲ要ス

- 一、身長四尺七寸ニ滿タサル者但身長四尺六寸以上ノ者體質優良ニシテ他ノ缺陷ナキトキハ入學セシムルコトアルヘシ
- 二、發育又ハ營養不十分ナル者
- 三、身長(寸)ヲ以テ體重(匁)ヲ除シ其商二三〇、ニ滿タサル者又ハ胸圍(常時)身長ノ二分ノ一ニ滿タサル者但體質優良ニシテ他ノ缺陷ナキ者ハ入學セシムルコトアルヘシ
- 四、脊柱彎曲又ハ扁平胸若クハ漏斗胸其他胸廓異常ノ者
- 五、神經衰弱、癲癩其他精神機能ニ障害アル者
- 六、傳染性眼炎ヲ患フル者又ハ色盲、亂視、強度ノ近視、弱視、斜視ノ者但近視ハ眼鏡十度以内ニテ中心視力ヲ20/20マテ補正シ得ルモノハ差支ナシ
- 七、聽官又ハ言語ノ障害著シキ者
- 八、肺結核、其他結核性ノ疾病ニ罹レルカ又ハ其ノ諸兆アル者
- 九、心臟瓣膜病ヲ患フル者
- 十、惡性腫瘍、腎臟炎、糖尿病又ハ重症貧血病若クハ婦人病ヲ患フル者

十一、全身ノ健康ニ直接ノ關係アル慢性ノ疾患アル者又ハ修學上ニ妨アル疾病ニ罹リ急治ノ見込ナキ者若クハ他ニ感染ノ虞アル疾病ヲ患フル者

十二、畸形ニシテ體操其他ノ授業ニ差支アル者又ハ被服ヲ以テ蔽フ能ハサル部分ニ著シキ異常變形ヲ有スル者又ハ腋臭ヲ有スル者

第五條 學校長ハ毎年薦舉ニ關スル要件ヲ定メ之ヲ各地方長官ニ通知スヘシ

第六條 學校長ハ薦舉生中ニ就キ地方長官ヨリ送付シタル薦舉書、人物考定書、學業成績書、身體檢查書、履歷書及學科ニ關スル志望書ヲ參按シ試験ヲ須ヒスシテ入學セシムヘキ者ヲ選抜ス

第七條 前條ニ依リ入學セシムヘキ者ヲ選抜シタルトキハ之ヲ官報ニ掲載シ學校長ヨリ各薦舉生ノ選抜又ハ不選抜ヲ當該地方長官ニ通知ス

第八條 第六條ニ依リ選抜セシ人員各學科募集定員ニ滿タサルトキハ補缺ノ爲メ第一條第一號乃至第三號ノ要件ヲ具備シ左ニ掲クル資格ヲ有スル入學志望者ヲ募集シ國語、英語算術ノ三科目ニ就キ試験ヲ行ヒ選抜ノ上入學セシムルコトアルヘシ

- 一、女子師範學校又ハ師範學校女子部卒業者
- 一、高等女學校卒業者

- 一、實科高等女學校卒業者
- 一、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定合格者
- 一、專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ該當スル者
 - 一、小學校本科教員ノ免許狀ヲ有スル者
- 第九條 前條ニ依リ入學セシムヘキ者ヲ選抜シタルトキハ之ヲ官報ニ掲載シ且選抜生ニ通知ス

八、外國人特別入學規程細規

大正五年十二月改定

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ入學ヲ志願スル者アルトキハ聽講生トシテ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 入學志願者ハ本邦又ハ外國ニ於テ高等女學校程度ノ教育ヲ受ケタルモノタルコトヲ要ス

第三條 入學志願者ニハ其學修セントスル學科ニ必要ナル學力ノ有無并日本語及日本文ノ能否ヲ考查スル爲メ試験ヲ行フ

第四條 第一條ニ依リ聽講生タラントスル者ハ入學願書ニ外務省在外公館又ハ本邦所在外

國公館ノ紹介書ヲ添ヘ願出ツヘシ
入學願書ニハ左記事項ヲ記載スヘシ

- 一、自己ノ國籍出生地及現住地
- 二、父母ノ住所及職業
- 三、自己ノ學業其他ノ經歷
- 四、日本語及日本文ヲ學修セシ經歷ノ大要

第五條 聽講生入學ノ時期ハ毎年四月トス但特別ノ事情アルモノハ本文ニ依ラサルコトヲ得

第六條 聽講生ニシテ學科ヲ修了シタル者ニハ其ノ學業ノ成績ニ依リ修了證書又ハ聽講證書ヲ授與ス

第七條 聽講生ハ授業料一學年金六拾圓ヲ納付スヘシ
但全學年間許可ヲ得テ休業シ又ハ休學ヲ命セラレタル場合ニ於テハ該學年ノ授業料ヲ徴收セス
授業料ハ毎年四月該學年分全額ヲ納付スヘシ既納ノ授業料ハ如何ナル事情アルモ還付セス

九、獎勵學資支給規則

大正三年十一月制定

第一條 本校生徒中學力優等品行方正ニシテ他ノ模範トスルニ足ルヘキ者又ハ多年教職ニ從事シタル者ノ子ニシテ學資支辨ニ困難ナル事情アルトキハ詮議ノ上獎勵學資ヲ支給ス
前項所定ノ資格ナキモ入學後家計ニ異動ヲ生シ學資支辨困難トナリタル生徒ニハ詮議ノ上獎勵學資ヲ支給スルコトアルヘシ

第二條 獎勵學資ハ第一學年生ニアリテハ一箇月金六圓以上第二學年生以内ニアリテハ一箇月金六圓以上拾貳圓以内トス

第三條 獎勵學資ノ支給ヲ希望スルモノハ其ノ事情ヲ具シ保證人連署ノ上出願スヘシ

第四條 獎勵學資ノ支給ヲ受クヘキ者及其ノ受クヘキ金額ハ給資志望者中ニ就キ第一條所定ノ事項ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第五條 獎勵學資ハ毎月中旬之ヲ支給ス但休學又ハ歸郷、外泊等全月ニ亘ルトキハ其月分ヲ支給セス

第六條 獎勵學資ヲ受クル者ニシテ第一條ノ規定ニ適合セスト認ムヘキ事情生シタルトキハ其ノ支給ヲ取消スモノトス

十、教育實習ニ關スル規程及細則

大正六年七月改定

◎ 教育實習ニ關スル規程

第一條 教育實習ハ普通教育ニ於ケル教授訓育及學校管理並幼兒保育ノ方法ヲ見聞練習シテ其ノ要領ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス

第二條 教育實習ニ從事スル生徒ヲ教生ト稱ス

第三條 本校教官及附屬學校教官ハ教育實習指導ニ關與シ本規程ニ規定スル事項ヲ擔任スヘシ

第四條 教育實習期間ハ大約十一月中旬ヨリ翌年三月中旬マテトス但寮務實習ハ四月上旬ヨリ十月中旬マテ之ヲ課ス

第五條 教育實習期間ヲ前期及後期ニ分チ教生ヲシテ各一期間ツ、

一、附屬高等女學校 二、附屬實科高等女學校及附屬小學校ニ於テ教育實習ニ從事セシム其ノ各期間大約左ノ如シ但本文期間中教生ヲシテ一週間ツ、附屬幼稚園ニ於テ幼兒保育ヲ實習セシム

前期 自十一月中旬 至翌年一月下旬

後期 自一月下旬 至三月中旬

第六條 教育實習中行フヘキ事項左ノ如シ

- 一 教授、訓育及保育ノ實習
- 二 學校管理ニ關スル實習
- 三 寮務實習
- 四 參觀

第七條 教授訓育及保育ノ實習ハ附屬校園ニ於テ之ヲ行ヒ附屬學校ノ關係教官及校長ノ指定スル教官之ヲ指導シ主事之ヲ管理ス其ノ實習事項概ネ左ノ如シ

一 教授實習 附屬學校ニ於テ實地ニ教授ヲ練習セシム

二 訓育實習 附屬學校ニ於テ生徒兒童訓育上必要ナル諸般ノ事項ヲ實地ニ練習セシム

三 保育實習 附屬幼稚園ニ於テ幼兒ノ保育ヲ實地ニ練習セシム

第八條 學校管理上ノ事項ニ關シテハ附屬校園ニ於ケル事務ノ見學及實習ヲ爲メサシ當該事務ニ關係アル教官之ヲ指導ス

第九條 寮務實習ハ附屬高等女學校寄宿寮ニ於テ之ヲ課ス

第十條 參觀ノ種類及指導教官左ノ如シ

一 模範授業及保育方法參觀 定時又ハ隨時ニ附屬學校教官ノ模範授業及附屬幼稚園ニ於ケル保育ノ方法ヲ參觀セシメ模範授業又ハ保育ノ任ニ當レル教官又ハ校長ノ指定スル教官之ヲ指導ス

二 他學校及幼稚園參觀 師範學校高等女學校小學校及幼稚園ヲ參觀セシム指導教官ハ其ノ都度之ヲ指定ス

第十一條 教育實習上必要ナル事項ニツキ附屬校園ノ主事若クハ教官定時又ハ臨時ニ講話ヲ行フモノトス

第十二條 教育實習ノ成績ハ附屬校園ニ於ケル指導教官ノ評點及關係本校教官ノ意見ヲ參酌シテ主事之ヲ判定ス

◎ 附屬高等女學校教育實習細則

第一條 附屬高等女學校ニ於ケル教育實習ハ教育實習ニ關スル規程第一條ノ旨趣ニ基キ高等女學校ニ於ケル教授訓育及學校管理ノ方法ヲ見聞練習シテ其ノ要領ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス

第二條 教生ハ各期之ヲ數組ニ分チテ本科各學年ニ配當ス
教生ノ組別及其ノ所屬學年ハ主事之ヲ定ム

第三條 教生ヲシテ教授實習ヲ爲サシムル學科目左ノ如シ

修身、體操

各學科教生

國語、歷史

文科教生

數學、理科、家事又ハ園藝

理科教生

家事、裁縫

家事科教生

各學科教生中圖書又ハ音樂ニ長シタルモノアルトキハ特ニ該科目ニ就キ教授實習ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第四條 教授實習ハ當該學年學科目擔當教官主トシテ之ヲ指導シ他ノ教生ヲシテ授業ヲ參觀セシメ授業ノ後批評會ヲ開ク

第五條 生徒ノ成績物ハ教授ヲ爲セル教生ヲシテ處理セシメ指導教官ハ其處理法ニツキテ之ヲ指導ス

第六條 訓育實習ハ所屬學年擔任教官之ヲ指導シ左ノ事項ヲ實習セシム

- 一 朝會及終禮ノ立會
- 二 學級日誌ノ檢閱
- 三 生徒ノ遊戲、食事、物品整頓、掃除等ノ監督

- 四 校外教授、遠足等ノ場合ニ於ケル生徒ノ指導監督
- 五 生徒ノ看護及手當
- 六 其ノ他訓育ニ關スル事項
- 第七條 教案ハ一定ノ用紙ニ認メ前以テ當該學年學科目擔當教官ニ差出サシム
- 第八條 主事ハ左ノ事項ニツキ講話ヲ爲スモノトス
 - 一 附屬高等女學校教育ノ要旨及諸規程類
 - 二 附屬高等女學校教育實習細則
 - 三 其ノ他必要ト認ムル事項
- 第九條 學科目主任教官及學科目擔當教官ハ其ノ學科目教授上必要ナル事項ニツキ講話シ模範授業ト相待チテ教授實習ニ資スルモノトス
- 第十條 學年擔任教官ハ所屬教生ヲ指導シテ學級事務及一般校務ヲ實習又ハ見學セシム
- 第十一條 寮務實習ヲ課スヘキ生徒及其ノ交代方法等ハ主事、生徒監合議ノ上稟議シテ之ヲ定ム
- 第十二條 寮務實習ハ主事及寮務關係教官之ヲ指導シ左ノ事項ヲ實習セシム
 - 一 寮生ノ訓育

- 三 寮生ノ養護
 - 二 寮生ノ炊事掃除等ノ指導
 - 四 寮舍内外ノ清潔整頓警備等ノ監督
 - 五 所屬寮舍ノ事務
 - 六 全寮事務ノ補助
 - 七 其ノ他寮務ニ關スル事項
 - 第十三條 模範授業ハ隨時ニ學科目擔當教官之ヲ行ヒ同學科目關係教生ヲシテ參觀セシメ授業ノ後其ノ教授ノ目的方法等ニツキ説明スルモノトス
 - 第十四條 市内他學校ノ參觀ハ主事其ノ日時、校名、指導教官及教生ヲ指定シ歸校ノ後批評會ヲ開クモノトス
 - 第十五條 他學校參觀ノ爲旅行ヲ行フ場合ニハ校長其ノ期日地方指導教官及教生ヲ指定シ參觀ヲ終リタル後批評會ヲ開キ歸校ノ上教生ヲシテ報告書ヲ差出サシム
- ◎ 附屬實科高等女學校教育實習細則
- 第一條 附屬實科高等女學校ニ後ケル教育實習ハ教育實習ニ關スル規程第一條ノ旨趣ニ基キ實科高等女學校ニ於ケル教授訓育及學校管理ノ方法ヲ見聞練習シテ其ノ要領ヲ會得セ

シメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス

第二條 教生ハ各期之ヲ數組ニ分チテ本科各學年ニ配當ス
教生ノ組別及其ノ所屬學年ハ主事之ヲ定ム

第三條 教生ヲシテ教授實習ヲ爲サシムル學科目左ノ如シ

修身、體操 各學科教生

國語、歴史 文科教生

算術、理科及家事、若クハ 理科教生

算術、理科及家事ノ内理科並園藝 理科教生

理科及家事、裁縫 家事科教生

各學科教生中圖書又ハ唱歌ニ長シタルモノアルトキハ特ニ該科目ニ就キ教授實習ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第四條 教授實習ヲ分チテ實習授業及共同批評授業トス

一 實習授業 實習授業ハ學科目關係教官之ヲ指導シ他ノ教生ヲシテ參觀セシメ授業ノ後批評會ヲ開ク

二 共同批評授業 共同批評授業ハ主事ノ指定スル教生之ヲ行ヒ主事、關係本校教官、

學科目關係教官之ヲ指導ス

共同批評授業ハ同學科目關係教生全體ヲシテ之ヲ參觀セシメ授業ノ後主事主宰ノ下ニ批評會ヲ開クモノトス

第五條 生徒ノ成績物ハ教授ヲ爲セル教生ヲシテ處理セシメ指導教官ハ其ノ處理法ニツキテ之ヲ指導ス

第六條 訓育實習ハ所屬學年主任教官之ヲ指導シ左ノ事項ヲ實習セシム

一 朝會及終禮ノ立會

二 學級日誌ノ檢閲

三 生徒ノ遊戲、食事、物品整頓、掃除等ノ監督

四 校外教授、遠足等ノ場合ニ於ケル生徒ノ指導監督

五 生徒ノ看護及手當

六 其ノ他訓育ニ關スル事項

第七條 教案ハ一定ノ用紙ニ認メ前以テ指導教官ニ差出サシム

共同批評授業ノ場合ニハ前項ノ教案ヲ更ニ主事ニ差出シ主事ハ之ヲ該授業指導教官及本校教務課ニ配付スルモノトス

第八條 主事ハ左ノ事項ニツキ講話ヲ爲スモノトス

- 一 附屬實科高等女學校教育ノ要旨及諸規程類
- 二 附屬實科高等女學校教育實習細則
- 三 其ノ他必要ト認ムル事項

第九條 主事ノ指定スル教官ハ關係學科目教授上ニ必要ナル事項ニツキ講話シ模範授業ト相待チテ教授實習ニ資スルモノトス

第十條 學年主任教官ハ所屬教生ヲ指導シテ學級事務及一般校務ヲ實習又ハ見學セシム

第十一條 模範授業ハ隨時ニ學科目擔任教官之ヲ行ヒ同學科目關係教生ヲシテ參觀セシメ授業ノ後其教授ノ目的方法等ニツキ説明スルモノトス

第十二條 市内他學校ノ參觀ハ主事其ノ日時、校名、指導教官及教生ヲ指定シ歸校ノ後批評會ヲ開クモノトス

第十三條 他學校參觀ノ爲旅行ヲ行フ場合ニハ校長其ノ期日地方指導教官及教生ヲ指定シ參觀終リタル後批評會ヲ開キ歸校ノ上教生ヲシテ報告書ヲ差出サシム

◎ 附屬小學校教育實習細則

第一條 附屬小學校ニ於ケル教育實習ハ教育實習ニ關スル規程第一條ノ旨趣ニ基キ小學校

ノ教授訓育及學校管理ノ方法ヲ見聞練習シテ其ノ要領ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス

第二條 教生ハ各期之ヲ數組ニ分チテ各學級(高等科男學級及特別學級ヲ除ク)ニ配當ス教生ノ組別及其ノ所屬學級ハ主事之ヲ定ム

第三條 教生ヲシテ教授實習ヲ爲サシムル教科目左ノ如シ

- 一 修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、體操 各學科教生ニ對シテ共通ニ之ヲ課スルヲ旨トシ學科ニ由リ斟酌スルコトアルヘシ
- 一 裁縫 家事科教生ニ限り之ヲ課ス
- 一 圖書、手工、唱歌 受持チ得ルモノニ限り之ヲ課スルコトアルヘシ

第四條 教授實習ヲ分チテ實習授業及共同批評授業ノ二トス

第五條 實習授業ハ主トシテ各學級主任又ハ關係分科受持之ヲ指導ス其ノ方法左ノ如シ

- 一 受持時間配當 學級主任ハ前週中ニ教生ノ受持教科目及教授時間ヲ定メ教務主任ヲ經テ之ヲ主事ニ差出シ又之ヲ關係教生ニ通知スルモノトス教生ヲシテ受持タシムヘキ一學級ノ教授時數ニ關スル標準ハ主事之ヲ定ム
- 二 準備 指導教官ハ其ノ受持學級ノ管理教材ノ取扱及教案調製ノ方法其ノ他教授上必

要ナル事項ニツキ豫メ教生ヲ指導シ前日マテニ教案ヲ提出セシム

三 參觀及批評 指導教官ハ學級所屬教生ト共ニ授業ヲ參觀シ適當ナル時間ニ於テ學級所屬教生全體ヲ集メテ批評會ヲ開ク

四 成績物處理 兒童ノ成績物ハ教授ヲ爲セル教生ヲシテ處理セシメ指導教官ハ其ノ處理法ニツキ之ヲ指導ス

第六條 共同批評授業ハ主事ノ指定スル教生之ヲ行ヒ主事、關係本校教官學級主任及分科受持之ヲ指導ス其ノ方法左ノ如シ

一 受持時間配當 教務主任ハ受持タシムヘキ學級教科目及教生ヲ豫定シ主事ニ經伺ノ上之ヲ關係學級主任分科受持及關係教生ニ通知ス

二 準備 前條ノ二ニ準シ授業ノ五日前ニ教案ヲ調製セシメ教務主任ヲ經テ主事及本校教務課ニ提出セシム

三 參觀及批評 指導教官ハ教生全體ト共ニ授業ヲ參觀シ授業ノ後批評會ヲ開キ其ノ批評ヲ批評簿ニ記入セシム

四 成績物處理 前條ノ四ニ同シ

第七條 學級主任ハ所屬教生ヲシテ學級兒童ノ訓育及其ノ分擔セル全校兒童ノ訓育ニ關スル諸般ノ事項ヲ實習セシムヘシ其ノ事項概ネ左ノ如シ

一 朝會ノ立會

二 兒童管理規程ニ定ムル各條項ニツキ兒童ノ管理監督

三 課外運動及遠足ノ場合ニ於ケル兒童ノ指導監督

四 當直

五 其ノ他訓育ニ關スル事項

第八條 第五條及第六條ニ定ムル教案ハ所定ノ様式ニ據リテ之ヲ調製セシム其ノ他特ニ課題トシテ教案ヲ調製セシムルコトアルヘシ

第九條 主事ハ左ノ事項ニツキ講話ヲ爲スモノトス

一 附屬小學校教育ノ要旨及諸規程類

二 附屬小學校教育實習細則

三 其ノ他必要ト認ムル事項

第十條 主事ハ訓導ヲシテ毎週若干時間講話ヲ爲サシム指定セラレタル訓導ハ豫メ其ノ要項ヲ認メ教務主任ヲ經テ之ヲ主事ニ提出スルモノトス
講話事項概ネ左ノ如シ

- 一 各教科目教授上實地ノ手續ニ關スルコト
- 二 學年ノ程度ニ應スル教材ノ取扱ニ關スルコト
- 三 學級兒童ノ訓育ニ關スルコト
- 四 其ノ他必要ト認ムル事項

第十一條 學校管理事務ノ見學及實習ニ關スル方法左ノ如シ

- 一 學級事務 學級主任ハ所屬教生ヲシテ其ノ學級ニ關スル事務ヲ實習セシム
- 二 一般事務 學級主任ハ便宜其ノ分掌スル教務、庶務、圖書、備品又ハ用度ニ關スル事務ニツキ所屬教生ヲシテ見學又ハ實習セシム其ノ他特ニ主事ヨリ校務ノ實習ヲ命スルコトアルヘシ

第十二條 學級主任及關係分科受持ハ隨時ニ模範授業ヲ爲シ所屬教生ヲシテ參觀セシメ學級ノ取扱方教科目ノ教授法等ニツキテ説明スルモノトス

前項ノ外主事ハ模範授業ヲ爲スヘキ學級、教科目及其ノ教授者ヲ指定シ教生全體ヲシテ參觀セシムルコトアルヘシ

第十三條 市内他學校ノ參觀ハ主事其ノ日時、校名、指導教官及教生ヲ指定シ歸校ノ後批評會ヲ開ク

第十四條 他學校參觀ノ爲旅行ヲ行フ場合ニハ校長其ノ期日、地方、指導教官及教生ヲ指定シ參觀ヲ終リタル後批評會ヲ開キ歸校後教生ヲシテ報告書ヲ差出サシム

第十五條 教育實習ニ關シ教務主任及教務係ノ事務左ノ如シ

- 一 教務主任
 - (一) 教育實習全期間ノ教育實習豫定概要及教育實習週案ヲ立案シ之ヲ主事ニ提出スルコト
 - (二) 前項ノ案ハ主事ノ承認ヲ得タル上各關係教官教生及本校教務課ニ之ヲ通知スルコト
 - (三) 教生ノ成績判定ニ關スル材料ヲ取纏ムルコト
 - (四) 其ノ他他係ニ屬セサル教育實習上一切ノ事務
- 二 教務係
 - (一) 教育實習ニ關スル書類ヲ保管スルコト
 - (二) 教生ノ出缺席ヲ調査スルコト

◎ 附屬幼稚園教育實習細則

第一條 附屬幼稚園ニ於ケル教育實習ハ教育實習ニ關スル規程第一條ノ旨趣ニ基キ幼兒保

育及幼稚園管理ノ方法ニツキ其ノ大要ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス

第二條 教生ハ之ヲ分チテ數組トシ幼兒ノ各組ニ配當ス
教生ノ組別及其ノ所屬組ハ主事之ヲ定ム

第三條 保育實習ハ主事之ヲ指導シ保育ノ實際ヲ參觀セシメ且適宜所屬組ニ於テ保育ヲ實習セシム

第四條 主事ハ左ノ事項ニツキ講話ヲ爲スモノトス
一 附屬幼稚園ノ要旨及諸規程類

二 附屬幼稚園教育實習細則
三 其ノ他必要ト認ムル事項

第五條 教生ヲシテ園務ヲ見學セシメ適宜之ヲ實習セシム
第六條 他幼稚園ノ參觀ハ學校參觀旅行中ニ於テ便宜之ヲ爲サシム

十一、生徒心得

大正五年四月制定

一 本校生徒ハ教育ニ關スル勅語并ニ成申詔書ノ 聖旨ヲ奉體シ日夕其實踐躬行ニ務ム

ヘシ

一 本校生徒ハ師範教育ノ趣旨ニ遵ヒ智徳ヲ研磨シ身體ヲ鍛練シ以テ人ノ師表タランコトヲ期スヘシ

一 本校生徒ハ常ニ婦徳ノ修養ヲ務メ勤勞ノ習慣ヲ養ヒ家事ヲ實習シ以テ本邦婦人ノ典型タランコトヲ期スヘシ

一 本校生徒ハ自學自修ノ主義ニ據リ學術ノ研究ニ務メ健全ナル常識ヲ養ヒ以テ其應用ノ才ヲ長センコトヲ務ムヘシ

一 本校生徒ハ協同自治ノ精神ヲ以テ事ニ當リ相互ニ切磋磨勵シテ校風ノ振作ニ務ムヘシ

十二、生徒例規

大正五年四月制定

◎ 教室

第一條 教室ニ於ケル席順ハ後列ヨリ身長順ニ依ルヘシ

第二條 課業時間以外ニ教室ニ留ラントスルトキハ教官ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 休業日ニ實驗實習等ノ爲教室ヲ使用セントスルトキハ豫メ擔任教官ニ申出テ其承

本校規則細則類

認證ヲ申受ケ教室使用ノ際之ヲ宿直員ニ差出シテ開室ヲ請ヒ使用終リタルトキハ直ニ其旨宿直員ニ報告スヘシ
 第四條 父母祖父母兄弟姉妹等ノ近親死亡シタルトキハ凡ソ日數ヲ限リテ忌引シ其旨届出ツヘシ

第五條 學級毎ニ學級當番ヲ置ク學級當番ハ正副各壹名トシ毎月交替セシメ副當番ハ翌月ニ於テ正當番トナルモノトス

第六條 學級當番ノ氏名ハ教務課ヨリ前月末ニ之ヲ指定ス
 第六條 學級當番ノ主要ナル任務ハ凡ソ左ノ如シ
 一 缺課セシ者アルトキハ之ヲ缺席調表ニ記入シ毎時限擔任教官ヲ呈示シテ其ノ檢閲ヲ受クルコト

二 學級通録ノ記錄并ニ統計ヲ作ルコト
 三 修學旅行費積立金ノ取纏メ并ニ出納ヲ掌ルコト

四 教室ノ清潔整頓及空氣ノ流通溫度等ニ注意シ適宜ノ處置ヲ爲スコト
 五 學校ヨリ命セラレタルコトヲ學級ニ傳フルコト

六 學級全體ニ關スル諸般ノ斡旋ヲナスコト

副當番ハ正當番ヲ補助シ正當番故障アルトキハ其代理ヲナスモノトス
 第六條ノ二 受業中參觀者ニ對シテハ教官教壇ヲ下リ敬禮アリタルトキニ限リ一同起立敬禮スルモノトス

前項ノ外舊師其他尊長ニ對シ各自ニ敬禮スルハ適宜トス
 ◎ 寮 舍

第七條 寮内起居ノ時間ヲ定ムルコト左ノ如シ

事項	時間	三月一日ヨリ五月末日マテ	六月一日ヨリ十月末日マテ	十一月一日ヨリ十二月末日マテ
晨起	午前	五時五十分	午前	五時
門限	午後	五時三十分	午後	六時
一般自修	午後	七時	午後	七時
就寢	午後	九時三十分	午後	九時三十分

第八條 毎日特定時間内ハ全寮一般自修ヲ爲スヘシ
 但休業日ノ前日ハ一般自修ノ時間ヲ定メス

第九條 休業日及放課後ハ規定ノ門限マテ外出ヲ許ス
第十條 外出スルトキハ其出入時刻及行先ノ場所氏名用務ノ大要ヲ備付ノ帳簿ニ記入スヘシ

第十一條 外出時限外臨時ニ外出ノ必要ヲ生シタルトキ又ハ木津、西大寺、郡山、法隆寺帶解、丹波市等へ外出セントスルトキハ其事由ヲ具シ寮務主幹ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 夏季休業中在舍セントスルトキハ其期間ヲ定メ願出ツヘシ
第十三條 生徒疾病ニ罹リタルトキハ各舍ニ備付アル患者申告簿ニ所定ノ事項ヲ記入シ寮務主幹ノ檢閲ヲ受クヘシ但病者ニ於テ其手續ヲ爲スコト能ハサル場合ハ同舍ノ者代リテ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 生徒疾病ニ罹リタルトキハ醫師ノ診斷ニ由リ其病症ノ種類及輕重ニ從ヒテ靜養室ニ入ラシメ或ハ校外ニ於テ療養セシム

第十五條 特別ノ事情アル場合ノ外校ノ内外ヲ問ハス金錢ノ貸借ヲ許サス
第十六條 來訪者ニ面會セント欲スルトキハ面會簿ヲ寮務主幹ニ差出シテ許可ヲ受ケ應接室ニ於テ面會スヘシ

面會人ヲ寮舍ニ案内セントスル場合又ハ寮舍ニ宿泊セシメントスル場合モ寮務主幹ノ許可ヲ受クヘシ
第十七條 各學科及各學級生徒相互ニ智徳ヲ練磨シ且親睦ヲ圖ル爲各學科會及各級會ヲ設ク

第十八條 學科會ハ學科主任教官ノ指揮ヲ受ケテ開會スルモノトス
第十九條 級會ハ學科主任教官ノ承認ヲ經テ開會スルモノトス

第二十條 學科會ハ每學期一回以上級會ハ每學期二回以上開會スルモノトス
第二十一條 級會ハ教官ノ臨席ナクシテ之ヲ開クコトヲ得

第二十二條 校友會學科會級會及其他ノ集會ヲ開カントスルトキハ其開會日時場所及次第ヲ記シテ届出ツヘシ
但校友會學科會及級會以外ノ集會ニハ開會ノ目的ヲモ記スヘシ

◎ 歸郷及旅行

第二十三條 自己ノ病氣療養又ハ父母ノ病氣看護ノ爲外泊若クハ歸郷セントスルトキハ豫メ日限ヲ定メ自己ノ病氣ニハ校醫ノ診斷書父母ノ病氣ニハ主治醫ノ診斷書ヲ添ヘ其旨願出ツヘシ但父母ノ病氣ノ場合ハ電報又ハ書面ヲ以テ診斷書ニ代フルコトヲ得

- 前項但書ノ場合ニハ歸郷ノ上診斷書ヲ差出スヘシ
- 第二十四條 歸郷若クハ外泊中ニ自己又ハ父母等ノ病氣ノ爲歸校ヲ延期スル必要アルトキハ豫メ日限ヲ定メ主治醫ノ診斷書ヲ添へ保證人連署ヲ以テ歸校日限内ニ願出ツヘシ若シ急ヲ要スル場合ニハ先ツ電報ニテ願置キ後ニ本條ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第二十五條 夏季休業中ハ歸郷セシムルヲ常例トス
- 第二十六條 春季休業中又ハ冬季休業中歸郷セントスルトキハ其理由ヲ具シ願出ツヘシ
- 第二十七條 休業中旅行セントスルトキハ其理由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ
- 第二十八條 受診ノ爲京都市、大阪市等へ旅行セントスルトキハ其旨届出ツヘシ
- 校醫ノ診斷ニ依ラサル場合ニ於テハ診察醫ノ診斷書ヲ請ヒ歸校ノ際提出スヘシ
- 第二十九條 實地見學ノ爲教官指導ノ下ニ自費ヲ以テ旅行セントスルトキハ其要項ヲ具シ願出ツヘシ
- 第二十條 東京方面修學旅行ニ際シ東京市又ハ其隣接町村ニ自家又ハ近親ヲ有スル者東京市滞在中修學上差支ナキ限ニ於テ旅行團ヲ離レテ宿泊ヲ爲サントスルトキハ出發前ニ保證人連署ヲ以テ其旨願出ツヘシ
- 第三十一條 修學旅行ニ際シ病氣ノ爲其旅行ノ全部又ハ一部ヲ缺カントスルトキハ其旨届出ツヘシ

- 出ツヘシ
- 第三十二條 總テ歸郷ノ爲出發スル際ニハ出發届ヲ差出シ到着ノ上直ニ保證人連署ヲ以テ歸着届ヲ差出スヘシ
- 第三十三條 許可ヲ受ケタル旅行ノ爲出發スル際ニハ出發届ヲ差出シ到着ノ上ハ直チニ到着届ヲ差出スヘシ
- 第三十四條 一泊以上修學旅行ヲ爲シタルトキハ歸校後直ニ歸校届ヲ差出スヘシ
- 第三十五條 歸郷外泊若クハ許可ヲ受ケ旅行シタル後歸校シタルトキハ直ニ歸校届ヲ差出スヘシ
- 第三十六條 歸郷、旅行等往復ノ途中病氣其他ノ事故ノ爲期限内ニ到着スルコト能ハサルトキハ直ニ電報ニテ届出ツヘシ
- ◎ 積立金
- 第三十七條 生徒ハ修學旅行費ニ充ツル爲毎年八月ヲ除キ毎月金五拾錢以上積立ツヘシ
- 第三十八條 修學旅行積立金ハ學級毎ニ生徒ノ互選シタル代表者貳名ノ名義ヲ以テ郵便局又ハ確實ナル銀行ニ預ケ入ルヘシ
- 第三十九條 各學級當番ハ毎月當該學級ノ積立金ヲ集メテ郵便局又ハ銀行ニ預入ノ手續ヲ

爲スヘシ

第四十條 各學級ニハ積立金出納簿ヲ備ヘ學級當番預金通帳ト共ニ順次引繼キテ之ヲ整理保管スヘシ

第四十一條 學級當番ハ毎月末積立金出納簿及預金通帳ヲ學科主任教官ニ差出シ其檢閲ヲ受クヘシ

第四十二條 修學旅行ノ際ハ學級當番ニ於テ必要ノ金額ヲ郵便局又ハ銀行ヨリ受取り修學旅行會計係ニ交付スヘシ

第四十三條 修學旅行費精算ノ結果剩餘金アリタルトキハ修學旅行會計係ヨリ學級當番ニ還付シ學級當番ハ直チニ郵便局又ハ銀行ニ預ケ入ルヘシ

第四十四條 歸省又ハ休學等ニテ積立ヲナス能ハサリシ者ハ歸校後直ニ之ヲ填補スヘシ

第四十五條 修學旅行ニ加ハラサリシ者ニハ其旅行ニ支出シタル壹人分ノ金額ヲ返却スヘシ

第四十六條 學年成績考查又ハ休學ノ結果原學年ニ留リタル者ニハ舊所屬學級ニ於ケル積立金殘額一人平均額ニ相當スル金額ヲ返却シ新所屬學級ニ於ケル同上一人平均額ニ相當スル金額ヲ新所屬學級積立金ニ納入セシムヘシ

第四十七條 生徒退學又ハ卒業ノ際積立金殘額アルトキハ其一人平均額ヲ各生徒ニ返却スヘシ

◎ 預 金

第四十八條 多額ノ金錢ヲ所有スルトキハ之ヲ寮務主幹ニ預ケ置クヘシ

第四十九條 生徒現金ヲ寮務主幹ニ預入ル、ニハ納票ニ金額氏名差引殘高等ヲ詳記シ捺印ノ上現金ヲ添へ出納明細簿ト共ニ差出シ預入レノ證印ヲ受クヘシ

第五十條 學資金ノ給與ヲ受ケタルトキハ生徒ハ自己ノ出納明細簿ニ其金額及差引殘高ヲ記入シ捺印ノ上出納明細簿ト共ニ寮務主幹ニ差出シ預入レノ證印ヲ受クヘシ

第五十一條 生徒現金ノ拂戻ヲ要スルトキハ引出切符ニ金額氏名及差引殘高等ヲ詳記シ前日マテニ寮務係ニ差出スヘシ

第五十二條 現金ノ拂戻ヲ受クル場合ニハ引出切符ノ受領欄ト自己ノ出納明細簿トニ捺印シ引出切符ヲ寮務係ニ差出スヘシ

◎ 服 裝

第五十三條 服裝ハ總テ質素ヲ旨トスヘシ袴ノ色合ハ青紫色ヲ標準トシ新調ノ節ハ之ニ依ルヘシ

第五十四條 課業時間外本校構内ニ於テハ袴ヲ着ケサルコトヲ得其場合ニハ縹子又ハモス
リシ類ノ帶ヲ用フヘシ

第五十五條 祝祭日、儀式及卒業式ニハ紋付ヲ着用スヘシ

◎ 願 及 届

第五十六條 願書及届書ハ其歸郷、旅行、外泊等直接寄宿寮ニ關スルモノハ寮務係ニ其他
ノモノハ教務課ニ差出スモノトス

願及届ハ特ニ示定シタルモノ、外ハ總テ學校長宛ニ認ムルモノト心得ヘシ但電報ノ場合
ニハ學校宛ト爲スヘシ

十三、寄宿寮規則

大正五年四月改正

第一條 寄宿寮ハ生徒ヲシテ協同和樂ノ中ニ於テ學業ヲ修習シ德行ヲ練磨シ兼ネテ家事ヲ
實習セシムル所トス

第二條 寄宿寮ハ分チテ五寮二十二舍トシ一舍ヲ以テ一家ニ當ルモノトス

第三條 一舍ノ人員ハ十二人、乃至十五人トシ學科學年及出身地方ヲ斟酌シテ之ヲ配當ス

第四條 各舍ニ舍長、副舍長各壹人ヲ置キ上級生ヲ以テ之ニ充ツ

舍長ハ舍ニ關スル一切ノ責ニ任ス

副舍長ハ舍長ヲ輔佐シ舍長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第五條 各舍生徒ハ協同シテ炊事湯浴舍内外ノ清潔整頓其他舍ニ關スル一切ノ事項ヲ處辨
スルモノトス

十四、圖書館規則

大正三年九月制定

第一條 奈良女子高等師範學校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ收藏シ且之ニ關スル事務ヲ處理スル
所トス

第二條 圖書閱覽室ハ大祭祀日、皇后陛下御誕辰、學校紀念日、日曜日及七月廿五日ヨリ
八月三日迄十二月廿八日ヨリ一月五日迄ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク其時限ハ時々揭示スヘ
シ
但時宜ニヨリ臨時閉館スルコトコルヘシ

第三條 左ニ掲クル者ハ閱覽室ニ於テ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

一、本校及附屬校園職員

二、本校生徒及卒業生

- 一、滿二年以上在職シタル舊職員
- 一、學校長ヨリ特ニ閲覧ノ許可ヲ得タル者
- 第四條 閲覧室ニ於テハ靜肅ヲ守リ音讀雜談ヲナスヘカラス
- 第五條 本校職員ハ圖書借受又ハ閲覧ノ爲書庫ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得
- 第六條 本校生徒ニシテ圖書ヲ閲覧セントスルトキハ圖書目錄ニ依リ書名部號、番號、冊數、氏名等ヲ閲覧室備付ノ閲覧證用紙ニ記入シ係員ニ差出シテ其圖書ヲ受取閲覧室内ニ於テ之ヲ閲覧シ閲覧済ノ上ハ係員ニ返付スヘシ
- 閱覽室備付ノ圖書ハ任意ニ取出シ閲覧スルコトヲ得閲覧了レハ原位置ニ納メ置クヘシ
- 第七條 研究生及本校第三、四學年生徒ハ係員ノ許可ヲ得テ書庫ニ藏セル圖書ヲ檢索スルコトヲ得其閲覧手續ハ前條ノ規定ニ依ル但書庫ニ入ル時ハ鉛筆ノートノ外其他ノ物品ノ携帯ヲ許サス
- 第八條 本校生徒ニシテ貴重圖書ヲ閲覧セントスルトキハ當該學科受持教官ノ證明ニ依リ主幹ノ承認ヲ經タル上閲覧手續ヲ爲スヘシ
- 第九條 學科ニ依リ常ニ必要ノ圖書ハ學校長ノ許可ヲ得テ教官室ニ備付クルコトヲ得執務上必要ナル圖書モ亦同シ之ニ關スル細則ハ別ニ定ムル所ニ依ル

- 第十條 教授、助教授及講師ハ二十部五十冊ヲ限リ其他ノ職員ハ五部二十冊ヲ限リ本校生徒ハ當該學科受持教官ノ證印ニ依リ二部五冊ヲ限リ主幹ノ承認ヲ經テ圖書ヲ借受クルコトヲ得
- 第十一條 貴重書、辭書、閲覧室備付書及禁帶出ノ印アル圖書ハ閲覧室外ニ携出スルコトヲ得ス携出セントスル者ハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 貴重書ハ其學科ニ關スル教授、助教授及講師ニ限リ主幹ノ承認ヲ經テ一日間借受クルコトヲ得二日以上ニ渉ル時ハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十二條 圖書ヲ借受ケントスル者ハ圖書館ニ就キ圖書借用證用紙ニ書名、部號番號、冊數、氏名年月日等ヲ詳記シ捺印ノ上差出スヘシ
- 第十三條 借受ケタル圖書ハ總テ他人ニ轉貸スルコトヲ許サス
- 第十四條 夏期休業中圖書ヲ借受ケントスル時ハ主幹ヲ經テ學校長ノ許可ヲ受ケ借入ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十五條 借受ケタル圖書ハ毎年七月二十日迄ニ悉皆返納シ又夏季休業中借受ニ係ル分ハ休業末日迄ニ必ス返納スヘシ
- 但時宜ニ依リ臨時ニ返納セシムルコトアルヘシ

第十六條 職員ノ退職、休職、轉任及生徒ノ休學、退學シタル者ハ其借受セル圖書ヲ直ニ返納スヘシ卒業スヘキ生徒ハ卒業證書ヲ受クル前ニ必ス返納スヘシ

第十七條 借受ケタル圖書ヲ亡失又ハ毀損シタル者ハ其事實ヲ詳記シタル書面ヲ主幹ニ差出スヘシ

十五、理科共同標本室規則

大正三年六月制定

第一條 理科共同標本室ハ理科諸學科目ニ關連スル應用標本ヲ備付ク生徒ノ學習及常職養成ニ資スル所トス

第二條 本室ニ主任一名及商議員若干名ヲ置ク主任ハ標本ノ整理及保管ニ任シ商議員ハ本室經營上ノ重要ナル事項ヲ商議ス

第三條 本室ニ備付ケタル標本ノ檢索ニ便ナラシメンカ爲メ標本目錄ヲ置ク

第四條 備付ノ標本ハ室外ニ携出セサルヲ以テ本體トス
但教授上必要アル場合ハ係員ノ承諾ヲ得期限ヲ定メテ之ヲ携出スルコトヲ得

第五條 職員ハ隨時ニ標本ヲ觀察シ必要ニ應シテハ手ニ取リテ觀察スルコトヲ得

第六條 生徒ハ規定ノ時間内ニ於テ標本ヲ觀察スルコトヲ得若シ手ニ取リテ觀察セントス

ル時ハ係員ノ承諾ヲ受クヘシ

第七條 標本ヲ毀損シタル時ハ其事由ヲ詳記セシ書面ヲ係員ニ差出スヘシ

第八條 生徒ノ入室時限ハ時々之ヲ揭示ス

十六、文書處理規程

大正六年十二月改定

第一條 文書ノ收受發送ハ附屬校園ニ於テ直接處理セシムルモノ、外庶務係ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

第二條 庶務係ニ於テ文書ヲ收受シタルトキハ左ノ各號ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

一、親展ニ非サル文書ハ總テ之ヲ開披シ其件名、番號及年月日等ヲ簿冊ニ登錄シ本書ニ受付番號及年月日ヲ記入シ主管課係首席者ニ之ヲ配付スヘシ

二、親展文書ハ之ヲ簿冊ニ登錄シ封皮ニ受付番號及年月日ヲ附シ封緘ノ儘之ヲ配付スヘシ

第三條 校長ノ閱覽ヲ經タル親展文書ハ機密ニ關スルモノヲ除クノ外前條第一號ノ例ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第四條 郵便料金ノ未納又ハ不足ノ文書ハ其發信者官公署學校又ハ其ノ代表者タル場合ノ外收受スルコトヲ得ス

文部次官及文部省各局課長ハ之ヲ代表者ト見做ス

第五條 文書ハ接受後直ニ之ヲ處理スヘシ特ニ調査ヲ要スル爲メ七日以内ニ處理シ難キモノハ其理由及日限ヲ具シ校長ノ許可ヲ經テ庶務係ニ通知スヘシ

第六條 立案ハ左ノ例ニ依リ各主管課係ニ於テ起草シ庶務係ニ回付スヘシ

一、規定、内規又ハ先例アルモノハ各其ノ例規ニ依リ直ニ立案スヘシ

二、規定、内規又ハ先例ナキモノ若クハ規定内規又ハ先例アリト雖モ特別ノ處置ヲ要スト認ムルモノハ事情ヲ具シ校長又ハ主幹ノ指揮ヲ承ケ立案スヘシ

第七條 左記事項ハ生徒監及學科主任ニ合議スヘシ

一、生徒ノ募集、入學、休學、退學及卒業ニ關スルコト

二、生徒ノ身體檢査及患者統計ニ關スルコト

三、生徒ノ課業出缺席ニ關スルコト

四、生徒ノ修學旅行及諸所參觀ニ關スルコト

五、其ノ他生徒ニ關スル重要ナル事項

前項ノ外左記事項ハ學科主任ニ合議スヘシ

一、學科課程ニ關スルコト

二、成績考査ニ關スルコト

三、卒業生ニ關スルコト

第八條 成案ハ總テ其事務ニ關係アル課係等ヘ合議スヘシ

第九條 合議ヲ受ケタル成案ニ對シ意見ヲ異ニスルトキハ面談商量シ仍決セサルトキハ意見ヲ付シテ校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第十條 合議ヲ受ケタル成案ノ再回ヲ要スルトキハ課係名ノ上部又ハ下部ニ「要再回」ノ印ヲ押捺スヘシ

前項ノ成案ハ施行後主管課係ヨリ直ニ之ヲ回示スヘシ

第十一條 他ノ課係ニ合議シタル成案ヲ改廢シタルトキハ其ノ改案ニ係ルモノハ更ニ合議シ其ノ廢案ニ係ルモノハ欄外ニ廢案ト記入シ捺印ノ上關係課係主幹又ハ主任者ノ消印ヲ求ムヘシ成案決裁ノ趣旨最初ノ立案ト異ナルトキハ關係課係ニ其ノ成案ヲ回示スヘシ

第十二條 秘密又ハ重要ナル成案ニハ其ノ欄外ニ「秘」又ハ「重」ノ印ヲ押捺シ主幹若クハ主任者携持シテ決裁ヲ受ケ他ノ課係ニ合議ヲ要スルトキハ袋入トシテ回議スヘシ

第十三條 至急ヲ要スル成案ニハ其ノ上部ニ赤色ノ紙片ヲ貼付シ又ハ主幹若ハ主任者携持シテ決裁ヲ受クヘシ

第十四條 發送文書ニ親展、至急ノ表記ヲ要シ又ハ電信、特使、書留、配達証明等特殊ノ

取扱ヲ要スルモノハ其ノ成案ノ末尾又ハ前文ニ朱書ヲ以テ之ヲ表示スヘシ
 第十五條 校長又ハ主幹ノ不在中代決シタル文書ニシテ事後閱覽ニ供スルノ必要アルモノ
 前項ノ代決ノ際其ノ欄外ニ「後伺」ノ印ヲ押捺スヘシ
 第十六條 發議後七日ヲ經テ仍決裁ニ至ラサル成案アルトキハ主幹課係ハ該成案ノ所在ヲ
 調査シ稽留ノ事由ヲ確ムヘシ
 第十七條 校長又ハ主幹ノ決裁ヲ經タル文書ハ總テ之ヲ庶務係ニ回付スヘシ
 第十八條 文書ヲ發送セントスルトキハ各主管課係ニ於テ淨書シ成案ト共ニ主務係ニ回付
 スヘシ
 第十九條 文書ノ發送ハ即日之ヲ施行スヘシ若文書輻輳シ即日發送シ難キトキハ其ノ緩急
 ヲ稽查シ二日以内ニ順次之ヲ施行スヘシ
 第二十條 施行濟ノ成案ニハ庶務係之ニ番號及施行濟ノ年月日ヲ記入シ即日之ヲ主管課係
 ニ返付スヘシ
 第二十一條 文書ニハ左ノ記號及番號ヲ付スヘシ
 一、教第何號 教務課ノ主管ニ屬スルモノ

二、庶第何號 庶務係ノ主管ニ屬スルモノ
 三、會第何號 會計係ノ主管ニ屬スルモノ
 四、察第何號 寮務係ノ主管ニ屬スルモノ
 五、圖第何號 圖書館ノ主管ニ屬スルモノ
 六、職第何號 進退書類
 七、親第何號 親展書類
 八、電第何號 電報書類
 九、定第何號 規則、規定、細則、心得等ノ規定書類
 第二十二條 文書ノ番號ハ毎年一月ニ起リ十二月ニ止ム
 但シ前條第九號ハ此限リニアラス
 文書ノ番號ハ其事件完結ニ至ル迄之ヲ襲用スヘシ
 但シ其ノ事件ノ翌年ニ亘ルトキハ新ニ番號ヲ起シ簿冊ニ從前ノ番號ヲ登記スヘシ
 第二十三條 本校所在地附近便宜ノ場所ニ送達スル文書及物品ハ簿冊ニ登記シ小使ヲシテ
 之ヲ送達セシムヘシ
 小包郵便第四種郵便又ハ通運便ニ付スルモノハ主管課係ニ於テ封緘又ハ包裝シテ通運便

ニ付スルモノハ會計係ニ其ノ他ハ庶務係ニ回付スヘシ

第二十四條 庶務係ニ於テハ毎月十日迄ニ其ノ前月末日迄未済文書件名表ヲ調製シ主管課係ニ回付シ未済事由ノ記入ヲ受ケ校長及當該主幹ノ査閲ニ供スヘシ

第二十五條 校長ノ命ニ依リ一時處分ヲ爲サスシテ文書ヲ留置クトキハ主幹課係ヨリ其ノ旨庶務係ニ通知スヘシ

第二十六條 庶務係ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ本規程ニ定ムル文書ノ登録ヲナスヘシ

- 一、普通書類件名簿
- 二、進退書類件名簿
- 三、親展書類件名簿
- 四、電報書類件名簿
- 五、規定書類件名簿
- 六、送達簿
- 七、配付簿
- 八、寄贈品受領簿
- 九、雜誌一覽受領簿

第二十七條 文書ハ各其主管課係ニ於テ整理保存スヘシ

★文書ノ整理保存ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十八條 本規程ハ特殊ノ取扱ヲ要スル文書ニハ之ヲ適用セス

附 則

本規程ハ大正七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

十七、文書表簿類保存規程

大正七年九月制定

第一條 文書表簿等ノ整理保管ヲ掌ルタメ各部局ニ記録主任ヲ置ク

第二條 記録主任ハ庶務係ヨリ完結文書ノ引繼ヲ受ケタルトキハ件名簿ニ捺印ノ上文書ヲ受領シ且其文書ヲ編綴スヘキ簿冊ノ記號ヲ件名簿ニ記入スヘシ

第三條 文書處理規程ヲ適用セサル文書及表簿類ハ件名簿ニ登記セス

完結後主任者ヨリ直ニ記録主任ヘ引繼クヘシ

第四條 記録主任ハ別表分類別ニ從ヒ各假綴簿ヲ備ヘ目次ニ番號年月日件名ヲ記入シテ綴込ムヘシ但表簿等特ニ編綴ノ必要ナキモノハ此ノ限ニアラス

第五條 文書ノ各類交互聯關スルモノハ其ノ主要事項ノ部ニ取纏メ綴込ミ他ノ部ニハ其旨

第六條 文書編綴ノ順序ハ結了ノ前後ニ依リ一事件ノ文書ハ起端ヲ前ニ終結ヲ後ニスヘシ

第七條 文書ニ附屬スル圖表類ニシテ本書ニ合綴シ難キモノハ附屬圖表タルコトヲ明記シ別冊トナスコトヲ得、此場合ニ於テハ本書ヲ編綴シタル簿冊ノ目次ニ其旨附記スヘシ

第八條 文書表簿ノ保存期限ハ處分完結ノ翌年又ハ翌年度ヨリ起算スヘシ

第九條 保存期限經過シタル文書表簿ハ廢棄書類目錄ヲ調製シ經伺ノ上廢棄ノ手續ヲナスヘシ

第十條 文書表簿等ノ整理保管ヲ齊一ナラシムルタメ檢閲ヲ行フコトアルヘシ

檢閲委員ハ職員中ニ就キ其都度校長之ヲ命ス

第十一條 本規程施行ニ要スル細則及分類ノ細別並ニ保存期限等ハ各部局ニ於テ之ヲ定メ本校長ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 特別ノ取扱ヲ要スル文書表簿類ニハ本規程ヲ適用セス

附 則

本規程ハ大正七年十月一日ヨリ施行ス

文書表簿分類別 (細別ハ略之)

類別	部門	第一門(庶務)	第二門(教務)	第三門(會計)	第四門(圖書)	第五門(寮務)
第一類	皇室關係書類	規則例規類	規則例規類	規則例規類	規則例規類	規則例規類
第二類	規則例規類	規則例規類	豫算書類	規則例規類	圖書整理ニ關スル書類	規則例規類
第三類	人事書類	修學旅行ニ關スル書類	計算書類	圖書閱覽ニ關スル書類	圖書閱覽ニ關スル書類	生徒ニ關スル書類
第四類	統計報告類	生徒募集ニ關スル書類	統計報告類	日記、帳簿類	日記、帳簿類	生徒ニ關スル書類
第五類	儀式書類	生徒ニ關スル書類	出納書類	雜件	雜件	雜件
第六類	諸會議書類	卒業生ニ關スル書類	設備書類			
第七類	職員關係書類	講習會ニ關スル書類	檢査書類			
第八類	生徒關係書類	諸會議書類	帳簿類			
第九類	附屬校園書類	日記、記錄、表簿類	備人關係書類			
第十類	日記帳簿類	雜件	雜件			

第十一類 雜件

文書表簿類保存規程細則（庶務課）

- 第一條 記録主任ハ文書表簿等ノ整理保管ヲ明確ナラシムル爲メ記録臺帳ヲ設クヘシ
- 第二條 記録臺帳ニハ文書表簿等ノ分類細別、保存期限、符號別索引及廢棄ニ係ル文書表簿等ノ目錄其他記録ニ關スル要項ヲ登記スヘシ
- 第三條 文書ノ假綴簿及表簿等ハ凡テ分類別記號ノ外ニ索引符號ヲ附シテ整理シ符號ノ順序ニヨリ書棚ニ藏置スヘシ
- 第四條 會計係所屬ノ表簿中洋式帳簿（簿記帳）ハ索引符號ヲ附セス會計年度ノ順序ニ依リ別ニ倉庫ニ藏置スヘシ
- 第五條 保存期限滿了ノ文書表簿等ハ記録主任ニ於テ將來保存ノ必要ナシト認メラル、モノニ限リ廢棄目錄ヲ添附シ校長ノ許可ヲ得テ會計係ヘ引繼クヘシ
- 第六條 會計係ハ前條ノ引繼ヲ受ケタルタトキハ差支ナキモノニ限リ拂下ノ手續ヲナシ其他ハ記録主任立會ノ上焼却スヘシ

十八、物品會計規程細則

明治四十二年四月制定

- 第一條 本校各部ニ於テ物品ノ支給ヲ要スルトキハ品目、數量、需要ノ事由等ヲ記載セル請求書ヲ會計係ニ差出スヘシ
- 第二條 會計係ハ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其物品ノ在庫品ナルトキハ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ校長ノ許可ヲ受ケ購買ノ手續ヲナスヘシ
- 第三條 新ニ物品ヲ購入シタルトキハ所定ノ検査委員ヲシテ檢定セシメ合格ノ上ハ納入ヘ受領證ヲ交付シ藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ
- 第四條 備品ハ左ノ分類ニ依リ類別、符號、番號、校名ヲ付シ命令ニ基キ物品監守者ニ支給スル場合ハ更ニ物品監守區域名ヲ付シ之ヲ配付スヘシ

備品分類別（括弧内符號）

(い) 椅子類	(ろ) 卓子類	(は) 戸棚及棚類	(に) 箱類	(ほ) 帽子掛類
(へ) 卓子掛類	(と) 度量衡類	(ち) 文具類	(り) 醫療器類	(ぬ) 時計寒暖計類
(る) 桶類	(を) 暖爐火鉢類	(わ) 農工具類	(か) 印章版木類	(よ) 硯小道具類
(た) 寢具類	(れ) 被服類	(そ) 厨具類	(つ) 御眞影裝置	(ね) 体操器具

本校規則細則類

(な) 洋食器類	(ら) 保育用具類	(む) 臺類	(ま) 學術用器具	(や) 學術用機械
(の) 教育標本	(け) 地理標本	(ふ) 歴史標本	(す) 數學標本	(こ) 物理標本
(て) 化學標本	(あ) 動物標本	(さ) 植物標本	(き) 鑛物標本	(ゆ) 家事標本
(せ) 洗濯標本	(め) 圖書標本	(み) 作法標本	(し) 裁縫標本	(ゑ) 手工標本
(ひ) 園藝標本	(じ) 習字標本	(り) 理科共同標本	(す) 附屬高等女學校用標本	(び) 附屬實科高等女學校用標本
(せ) 附屬小學校用標本	(く) 附屬幼稚園用標本	(も) 雜品類		

第五條 消耗品ハ會計係一箇年ノ所要高ヲ豫定シ校長ノ許可ヲ受ケ一回若クハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部ノ請求ヲ應シ支給ノ手續ヲナスヘシ

第六條 生産又ハ寄贈ニ係ル物品ハ會計係ニ於テ其品名、數量及價格若クハ評價ヲ付シ藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第七條 各部物品監守者ノ所屬監守區域及物品取扱主任ノ取扱フ物品ノ種目左ノ如シ

部局名	物品監守區域(備品)	物品取扱品目(消耗品)
教務課	普通教室、教務課室	教務用消耗品

庶務係	校長室、會議室、應接室、庶務係室	郵便切手及端書
會計係	會計係室及他係ニ屬セサル物品	事務用消耗品
寮務係	生徒監舍、寄宿寮	
圖書館	圖書館、書庫	
作法教室	同教室	
教育教室	同教室	
歷史教室	同教室、標本室、教官室	
地理教室	同教室	
數學教室	同教室	
物理教室	同教室、實驗室、機械標本室、教官室	物理實驗用材料及藥品
化學教室	同教室、實驗室、藥品室、準備室、教官室	化學實驗用材料及藥品
手工教室	同教室	手工實習用材料
植物教室	同教室、標本室、作業室、教官室	植物實驗用材料及藥品

本校規則細則類

動物生理教室	同教室、實驗室、標本室、教官室	動物生理實驗用材料及藥品
鑛物及地質教室	同教室、標本室	鑛物及地質實驗用材料及藥品
家事教室	同教室、烹飪教室、標本室、教官室	家事實習用材料
洗濯教室	同教室	洗濯實習用材料
習字教室	同教室	
圖書教室	同教室、標本室、教官室	
音樂教室	同教室、練習室	
裁縫教室	同教室、標本室、教官室	裁縫實習用材料
園藝教室	同教室、標本室、作業室、更衣室、教官室	園藝實習用材料及藥品
體操教室	同教室、更衣室、教官室	
薙刀教室	同教室	
理科共同標本室	同室	
國語漢文參考室	同室	

附屬高等女學校	同校全部	同校所屬物品
附屬實科高等女學校	同校全部	同校所屬物品
附屬小學校	同校全部	同校所屬物品
附屬幼稚園	同園全部	同園所屬物品

第八條 物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ配付ヲ受ケタルトキハ直ニ之レカ記帳ヲ了シ現品ト對照シ所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但備品ハ成ヘク其備付場所ヲ監守簿備考欄内ニ摘記シ便宜其所在ヲ明ニスヘク消耗品ニアリテハ其受拂ヲ明確ニスヘシ

第九條 物品監守者交迭シタルトキハ新舊監守者立會ノ上物品監守簿ト現品ヲ照合シ其受繼ヲ了シタル事由及年月日ヲ帳簿ノ餘白ニ記入シ且相互記名捺印スヘシ

第十條 甲物品監守者ノ監守スル物品ニシテ不用ニ屬スルモ乙物品監守者ニ於テ必要ナルモノアルトキハ甲乙監守者ヨリ其旨會計係ニ通告シ相當ノ手續ヲ經テ現品ノ受渡ヲナスヘシ

第十一條 職員轉免ノ場合ニハ其監守ノ專用物品ヲ會計係ニ返付スヘシ

第十二條 物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理又ハ引換ヲ要スルモノアルトキハ直チニ會計係ニ修理又ハ引換ヲ請求スヘシ

會計係ハ前項ニ依リ修理ヲ了シタルトキハ直ニ物品監守者ニ引渡スヘシ

第十三條 物品監守者監守中ノ物品ニシテ不用トナリタルモノハ會計係ニ返付シ其監守簿ニ會計係ノ受領證印ヲ徴シ其事由年月日ヲ詳記スヘシ

第十四條 物品監守者監守物品ノ票札ヲ汚損シ又ハ紛失シタルモノアルトキハ直ニ物品會計官吏ニ通告シ更ニ票札ノ貼付ヲ乞フヘシ

第十五條 物品監守者監守中ノ物品ヲ紛失シタルトキハ其品名數量番號等ヲ取調ヘ始末書ヲ具シ物品會計官吏ヲ經由シテ校長ニ申報スヘシ

第十六條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一 備品ハ毎年一回物品出納簿ト各部監守簿ト對照シ更ニ監守簿ト現品トヲ照查スルコト

二 消耗品ハ毎月一回物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ對照シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照查スルコト

三 前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アル

トキハ校長ニ申告シ其處理ヲ求ムルコト

第十七條 不用ニ歸シタル物品又ハ毀損拂ノ物品ニシテ向來所要ノ用途ナシト認メタルモノ若クハ修理使用ノ見込ナキモノハ其處分案ヲ付シ校長ノ決裁ヲ乞フヘシ

第十八條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿及ヒ「カード」ヲ設クヘシ

一 備品原簿 本簿ハ備品分類別ニ基キ口座ヲ設ケ（學術用器具機械及雜品類ハ部類毎ニ更ニいろは別ニ細分シテ口座ヲ設ク）番號順ニ每品購入年月日價格納人、供用在庫ノ別支給及返付年月日ヲ登記シテ備品各個ノ沿革ヲ明ニシ兼テ物品所在ノ索引タラシム

二 備品出納簿 本簿ハ事務用備品、學術用機械器具標本等ニ大別シ備品分類別ニ依リ品目毎ニ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、月日納人等ヲ登記シ又物品監守者ト物品會計官吏トノ受授ヲ明ニス

三 消耗品出納簿 本簿ハ紙簿帳簿類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、薪炭油類、雜品類、實驗用材料、實驗用藥品ニ大別シ品目毎ニ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、月日納人等ヲ登記シ又在庫並消費高ヲ明ニス

四 備品「カード」 本票ハ備品一点毎ニ一票ヲ設ケ品目、構造、價格、符號、番號、月日、納人等ヲ記載シ命令ニ基キ備品ヲ物品監守者ニ交付スルトキ本票ニ監守者ヲシテ受領月日ヲ記入捺印セシメ之ヲ各監守者毎ニ區分整理シテ物品監守者ノ責任ヲ明ナラシメ兼テ物品保管ノ現況ヲ明ニス

第十九條 各部物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守及取扱ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一 備品監守簿 本簿ハ學術用器具機械標本及普通備品ニ大別シテ口座ヲ設ケ品目、數量、價格、番號及受授ノ月日ヲ明記スヘシ

二 消耗品受拂簿 本簿ニハ消耗品ノ品目毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ明記スヘシ

三 郵便切手類受拂簿 本簿ハ文書發送取扱者ニ於テ備付シ其受拂ヲ詳細ニ記入スヘシ

第二十條 物品檢閲ヲ分チテ定時、臨時ト二種トス定時檢閲ハ毎年八月臨時檢閲ハ臨時必要ト認メタル場合ニ於テ之ヲ執行ス

第二十一條 物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ學校職員中ヨリ毎年校長之ヲ命ス

第二十二條 物品檢閲委員ノ檢閲事項左ノ如シ

一 物品保管ノ適否

二 備品使用ノ適否

三 消耗品消費ノ適否

四 物品缺損ノ有無

五 帳簿ト現品トノ對照

第二十三條 物品檢閲上在庫物品ニ付テハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ付テハ物品監守者消耗品ニ付テハ物品取扱主任ニ於テ其保管監守取扱ニ屬スル現品及帳簿等ヲ取揃ヘ之レカ點檢ヲ受ケ檢閲上委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十四條 物品檢閲委員ニ於テ檢査上故障ナシト認定シタルトキハ簿冊ニ檢閲年月日ヲ記入シ委員長之ニ署名捺印スヘシ

檢査上故障アリタルトキハ當該責任者ヨリ始末書ヲ徴スヘシ

第二十五條 物品檢閲委員其檢閲ヲ了シタルトキハ檢査ノ顛末ヲ具シ意見ヲ付シ十五日以內ニ委員長ヨリ校長ニ申報スヘシ

第二十六條 本細則ニ據ル諸帳簿等ハ別紙様式ニ據リ調製スヘシ

第二十七條 圖書ノ取扱ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

十九、評議會規程

大正六年五月改定

- 第一條 評議會ハ校長ノ諮詢ニ應シテ重要ノ校務ヲ審議スルモノトス
- 第二條 評議員ハ左ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 生徒監
 - 二 附屬校園主事
 - 三 教務課主幹
 - 四 庶務課主幹
 - 五 學科主任
 - 六 校長ヨリ特ニ評議員ヲ命シタル教授但六名以内トス
- 第三條 校長ハ評議上必要ト認ムルトキハ評議員以外ノ職員ヲシテ會議ニ加ハラシムルコトアルヘシ
- 第四條 評議會ハ校長ニ於テ必要ト認メタルトキ開會スルモノトス
- 第五條 評議會ニ於テ決議ヲ爲ス場合ニ於テハ前項ノ職員ハ其採決ノ數ニ加ハラサルモノトス
- 第六條 前項第六號ノ評議員ノ任期ハ該學年間限リトス
- 第七條 評議會ハ校長ニ於テ必要ト認メタルトキ開會スルモノトス

第五條 評議會ノ議事ハ本校書記ヲシテ其要領ヲ記錄セシム

附 則

第六條 本規程ハ大正六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七條 舊規程ニ依リ校長ノ指名ニ依リ評議員タリシ者ハ本規程ノ施行ト同時ニ退任スルモノトス

二十、事務分掌規程

大正四年四月制定

- 第一條 本校ニ教務課及庶務課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム
- 第二條 各課ニ主幹ヲ置キ職員中ヨリ校長之ヲ命ス
 - 主幹ハ各課所管事務ノ指揮監督ニ關シ校長ヲ佐クルモノトス
- 第三條 教務課ノ所管事務左ノ如シ
 - 一 學科課程及日課ニ關スルコト
 - 二 教育實習ニ關スルコト
 - 三 試驗及成績考査ニ關スルコト
 - 四 生徒ノ募集、入學、休學及退學ニ關スルコト

- 五 生徒ノ學籍ニ關スルコト
- 六 生徒ノ課業出席ニ關スルコト
- 七 研究科生ノ研究ニ關スルコト
- 八 教室及教具ニ關スルコト
- 九 教科書及生徒學用品ニ關スルコト
- 十 生徒ノ訓育及管理ニ關スルコト
- 十一 生徒ノ體育及衛生ニ關スルコト
- 十二 生徒ノ身體檢查及患者統計ニ關スルコト
- 十三 寄宿寮ニ關スルコト
- 十四 生徒ノ學資ニ關スルコト
- 十五 生徒ノ修學旅行及諸所參觀ニ關スルコト
- 十六 生徒ノ歸郷外泊ニ關スルコト
- 十七 卒業生ニ關スルコト
- 十八 教育研究ニ關スルコト
- 十九 評議會及教官會議ニ關スルコト

予 校友會其他生徒ノ集會ニ關スルコト

其 其他一般教務ニ關スル事務

第四條 庶務課ニ庶務係及會計係ヲ置ク

庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 御影及教育ニ關スル勅語等ノ保管ニ關スルコト
- 二 學校長ノ官印及學校印ノ管守ニ關スルコト
- 三 公文書類ノ接受發送及整理保管ニ關スルコト
- 四 職員ノ進退身分及服務ニ關スルコト
- 五 儀式ニ關スルコト
- 六 日誌、記錄、本校一覽等ノ編纂ニ關スルコト
- 七 統計報告類ノ調製ニ關スルコト
- 八 規則、細則、內規等ノ審査ニ關スルコト
- 九 寄贈品、寄附願、及褒賞手續ニ關スルコト
- 十 當直ニ關スルコト
- 十一 參觀人ニ關スルコト

十二 他課ノ所管ニ屬セサル事務
會計係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 歳入歳出豫算決算ニ關スルコト
 - 二 官有財産及資金ニ關スルコト
 - 三 金錢ノ受拂及保管ニ關スルコト
 - 四 物品ノ購入及其ノ出納保管ニ關スルコト
 - 五 不用物品ノ拂下ニ關スルコト
 - 六 校地、校舎ノ管理營繕ニ關スルコト
 - 七 校内ノ警備取締ニ關スルコト
 - 八 備人ノ傭罷監督ニ關スルコト
 - 九 給水、排水、暖房、瓦斯、電燈、電話ニ關スルコト
 - 十 其他會計ニ屬スル一切ノ事務
- 庶務課各係ニ主任ヲ置キ書記ヲ以テ之ニ充ツ
主任ハ校長及主幹ノ命ヲ承ケ當該係ノ事務ヲ整理ス
- 第五條 他課ニ關係アル事項ハ必ス其ノ課ニ合議スヘシ

第六條 事務ノ所屬不明ナルモノ、所管ハ其都度學校長之ヲ指定ス

附則

第七條 本規程ハ大正四年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

二十一、寄宿寮事務規程 大正四年四月制定

- 第一條 寄宿寮ノ事務ヲ處理スル爲メ寮務係ヲ置ク
- 第二條 寮務係ニ主幹ヲ置キ生徒監中ヨリ校長之ヲ命ス
- 第三條 主幹ハ所管事務ノ指揮監督ニ關シ校長ヲ佐クルモノトス
- 第四條 寮務係ニ第一部及第二部ヲ置ク第一部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 生徒ノ訓育ニ關スルコト
 - 二 舎長、副舎長ノ任務ニ關スルコト
 - 三 寮舎内外ノ清潔整頓ニ關スルコト
 - 四 寮舎ノ警備取締ニ關スルコト
 - 五 衛生并ニ病傷者ニ關スルコト
 - 六 生徒ノ臨時外出ニ關スルコト

- 七 生徒ノ居室配當ニ關スルコト
 - 八 生徒ノ炊事ニ關スルコト
 - 九 生徒ノ預金拂戻ニ關スルコト
 - 十 生徒ノ入舎、退舎ニ關スルコト
 - 十一 生徒ノ諸願届ニ關スルコト
 - 十二 寮舎内居住者ノ郵便物ニ關スルコト
 - 十三 寮舎參觀人ニ關スルコト
 - 十四 生徒ノ面會人ニ關スルコト
 - 十五 寄宿舎諸請傭人ノ監督ニ關スルコト
- 第二部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 寮舎ノ修繕ニ關スルコト
 - 二 寮舎所屬物品ノ監守及請求ニ關スルコト
 - 三 生徒ノ學資ニ關スルコト
 - 四 各舎炊事費決算ノ調査ニ關スルコト
 - 五 臨時傭入ノ請求及監督ニ關スルコト

二十二、圖書館事務規程

大正四年四月制定

- 第一條 圖書館ニ主幹ヲ置キ職員中ヨリ校長之ヲ命ス
- 第二條 主幹ハ所管事務ノ指揮監督ニ關シ校長ヲ佐クルモノトス
- 第三條 圖書館ノ所管事務左ノ如シ
 - 一 圖書印章ノ保管ニ關スルコト
 - 二 圖書ノ出納整理保管ニ關スルコト
 - 三 圖書ノ目錄編纂ニ關スルコト
 - 四 寄贈圖書ノ受入ニ關スルコト
 - 五 圖書ノ閲覧、貸借ニ關スルコト
 - 六 官報、雜誌、新聞類ノ管理ニ關スルコト
 - 七 其他圖書ニ關スル一切ノ事務

◎職員

校長

正五位 勳四等 榎山榮次

教授

植物 二等三級 生徒監 教務課主幹 評議員 正五位 勳四等 高橋章臣

化學 三等四級 理科主任 評議員 正五位 勳三等 清水與三郎

教育 三等七級 (外國留學中) 從五位 勳六等 眞田幸憲

教育、生理及衛生 三等六級 評議員 從五位 勳六等 桑野久任

國語 三等六級 評議員 從五位 勳六等 岩城準太郎

修身(作法) 三等九級 寮務主幹 評議員 從五位 勳六等 錦織竹香

國語 三等七級 評議員 從五位 勳五等 水木要太郎

歷史 三等六級 文科主任 評議員 從五位 勳六等 佐藤小吉

教育、英語 三等七級 評議員 從五位 勳六等 本庄精次

英語 三等七級

修身 三等七級

教育 三等九級

歷史 三等七級

教育 四等七級

教育 四等六級

數學 四等七級

國語 四等八級

歷史、英語 五等八級

理科、家事 五等十級

地理 五等(兼)

動物 六等九級

國語 六等(兼)

教育 六等十級(外國留學中)

家事 六等十級

生徒監 評議員 從五位 勳六等 村島理平

家事科主任 評議員 陸軍歩兵少尉 從五位 蟻川龍夫

附屬幼稚園主事 評議員 從五位 勳六等 森川正雄

庶務課主幹 評議員 從五位 勳六等 田中一元

附屬高等女學校主事 評議員 正六位 勳六等 小川正行

附屬實科高等女學校主事 評議員 正六位 勳六等 木下竹次

附屬小學校主事 評議員 正六位 勳六等 小野新太郎

正六位 春日政治

從六位 時野谷常三郎

從六位 石澤吉磨

教諭 西田與四郎

正七位 惠利 惠

教諭 豐田八十代

正七位 松濤泰巖

評議員 正七位 越智キヨ

物理	裁縫	漢文	園藝	手工	音樂	圖書	鑛物、地質	家事	修身(作法)	裁縫	音樂	裁縫	
六等九級	六等十一級	六等八級	七等十級	(兼)	(兼)	四	(兼)	六	六	六	七	七	
正七位	正七位	從七位	從七位	訓導	訓導	從七位	教諭	教諭	助教諭	助教諭	助教諭	助教諭	
清水半吾	長尾糸	佐川久十節	豐田稔	西田四郎	小林吉平	茂尾純	多賀谷健吉	神戸伊三郎	堤川コトモ	岩瀬茂登	上田くま	渡邊銚	後藤キミエ

家事	修身(作法)	園藝	體操	裁縫	音樂	習字	薙刀	割烹	化學、鑛物地質	園藝
七	(兼)	(兼)	月三八	月三七	(兼)	助	助	助	八	九
助教諭	助教諭	助教諭	助教諭	助教諭	助教諭	助	助	助	助	助
永井ヤス	麻七キ	鍋木ミツギ	立澤ハツセ	八幡さみゑ	淺野アイ	大塚治六	新井つた	女川京太郎	安達久四郎	中山義孝

職員

陸軍歩兵伍長

助手補

動物、生理

植物

歴史、地理

家事

家事

裁縫

裁縫

書記

庶務課 庶務係主任 會計主任 主任收入官吏、不動産監守者 物品會計官吏、官報々告主任 一

教務課

寮務係、教務課

圖書館

八

- 西山熊夫
- 岡本勇治
- 小泉顯夫
- 立石良
- 城野多力
- 吉村一子
- 溝口ぬみ江
- 安木物外
- 茂利重太郎
- 上田鼎三
- 筒井熊太

庶務課、會計係

庶務課 會計係

教務課

庶務課、會計係

教務課

寄宿寮

物理教室、手工教室

庶務課 會計係

庶務課、會計係

圖書館

家事教室

校医

雇員

八

九

三

七

八

八等

- 前川安太郎
- 大森正三郎
- 廣瀬信太郎
- 松川乙治郎
- 八代喜惣治
- 中井タキノ
- 吉川秀義
- 吉本市松
- 中村寅次郎
- 榎本龜次郎
- 上原わつ
- 杉原榮次郎

眼科検査醫

久保井定治

一六〇

附屬高等女學校

主事

教授 正六位 勳六等

小川正行

教諭

從五位 勳六等

永澤定一

修身、理科、教育 三等三級

從六位

西田與四郎

歷史、地理 五等四級

正七位

豊田八十代

國語 六等三級

從七位

澤井見巳

修身(作法)裁縫 六等六級

從七位

松本竜之助

國語、漢文 七等五級

從七位

修身(作法)裁縫 七等六級

從七位

大坪ノブ

圖畫 七等(兼)

助教授

多賀谷健吉

理科、數學 七等五級

從七位

及川久太郎

助教諭

英語 四

青木茂則

修身(作法)裁縫 六

伊藤ひで

國語、體操 六

野村とし

縫裁 (兼)

岩瀬茂登

音樂 (兼)

石橋タカ

修身(作法)理科、數學 六

二村ミネ

音樂 (兼)

渡邊銚

修身(作法)國語、習字 七

奥山玄げ

裁縫 七

稻岡龜農

習字、歷史、地理 七

伊東ツカ

數學 七

麻本七キ

園藝 月三八

體操 (兼)

家事 八

音樂 (引志) 八

體操 八

嘱託

家事(割烹)

歴史、體操

雇員

事務

事務

助教授 楠木ミツギ
立澤ハツセ

筒井加美

淺野アイ

及川うめ

山川フサ

坪倉久米

男成正雄

大浦清治

大浦清治

附屬實科高等女學校

主事

修身

教諭

修身、歴史及地理 六等六級

圖畫、實業、(手工) 七等(兼)

唱歌 七等(兼)

國語 七等四級

理科及家事(理科) 八等五級

助教諭

教育 (兼)

裁縫 (兼)

修身、理科及家事(家事) 七

裁縫 七

體操 (兼) 七

國語、體操 八

教授 正六位 勳六等

木下竹次

正七位 森口奈良吉

訓導 小林吉平

訓導 幾尾純

從七位 妹尾良彦

正八位 神戸伊三郎

訓導 千葉命吉

訓導 後藤ひろ

植田タマヨ

沼波信

土屋ミヤ

田中清吉

島雄ふみよ

裁縫、體操

囑託

山田 鈴

雇員

筒井彌宗一

事務

有友滿喜笑

附屬小學校

主事

教授 正六位 勳六等

木下竹次

訓導

日本歴史、地理

教諭

森口奈良吉

圖書、手工

從七位

小林吉平

唱歌

從七位

幾尾純

理科

教諭

神戶伊三郎

日本歴史、地理 四

第四學級(尋常第四學年男女)五

第七學級(尋常第六學年男)五

裁縫 六

第八學級(尋常第六學年女)六

第六學級(尋常第五學年女)六

修身 (兼)

裁縫 (兼)

體操 (兼)

第五學級(尋常第五學年男)七

理科、算術(特別學級)七

第十學級(高等第一、二學年女)七

第二學級(尋常第二學年男女)月三八

職員

職員

千葉命吉

三好得惠

清水甚吾

石橋タカ

後藤ひろ

原政三

山路兵市

植田タマヨ

沼波信

土屋ミヤ

田中清吉

河野伊三郎

大浦茂樹

小島貞三

野中吉光

第二學級(尋常第一學年男女)八

第九學級(高等第一、二學年女)八

特別學級(特別學級)九

第三學級(尋常第三學年男女)九

雇員

事務

附屬幼稚園

主事

保母

教授 從五位 勳六等

森川正雄

會津タガエ

三上エイ

荻野キク

小泉トミ

保母心得

休職員

二等級

七等五級

八等五級

七

校長 正四位 勳三等

教諭 從七位

教諭

保母

河村貞 松谷フサ 菊山靜

野尻精一

西村甫也

大塚治六

西宮アヤ

○定員表

校名	官名	校長	教授	教諭	助教授	助教諭	訓導	保母	助手	書記	合計
奈良女子高等師範學校		一人	二四人	一人	一人	一人	一人	五人	二人	六人	九三人

○俸給表

官名	俸給	校長	教授	教諭	助教授	助教諭	訓導	保母	助手	書記
一級	三,七〇〇	三,七〇〇	三,〇〇〇	一,五〇〇						
二級	三,〇〇〇	三,〇〇〇	二,七〇〇	一,一〇〇						
三級	二,七〇〇	二,七〇〇	二,四〇〇	一,一〇〇						
四級	二,五〇〇	二,五〇〇	二,一〇〇	一,〇〇〇						
五級	二,二〇〇	二,二〇〇	二,〇〇〇	八五〇						
六級	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,七〇〇	七五〇						
七級	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,五〇〇	六〇〇						
八級	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,一〇〇	五〇〇						
九級	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,一〇〇	一,〇〇〇						
十級	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇						
十一級	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇						
十二級	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇						

◎生徒

生徒姓名 (イロハ順) 第四學年

姓名ノ下段ハ出身學校
○印ハ獎勵學資ヲ受ケル者
(大正八年六月一日現在)

姓	名	出身學校	備考
原	田 ともめ	高姫	
小	原 ふさ	高安	
横	山 壽々恵	高就	
吉	野 エイ	鹿兒島第一高	
塚	本 乙女	高酒	
松	野 すか	高札	
調	須 磨	高直	
河	内 セツ	高山	
波	多野 アキ	神奈川	
米	増 壽賀野	高鳥	
大	澤 イト	高盛	
原	正 子	高佐世	
渡	邊 信代	高大	
渡	田 はる	高姫	
藤	橋 みぎを	高岐	
永	原 初	高岡	
松	木 益枝	高四日市	
本	吉 とよ	高岡	
山	岸 か	高堺	
寺	田 花枝	本校附	
西	垣 文	高城	
兼	松 芳江	京第二高	
吉	村 満代	高唐	
田	村 茂	高廣	
山	岸 ね	高堺	
梶	原 ナヲ	鹿兒島	
吉	久 マサ	高津	

市 瀨 友 子 (師京)	細 野 モ ト (高新)	渡 部 ト ク (高米)	中 田 ハ ル エ (高徳)	桑 田 常 (高川)	松 本 喜 代 (高鶴)	佐 治 悦 子 (高親)	箕 浦 ミ サ ヲ (高徳)	杉 田 ト ミ (高足)	◎ 理 科	井 上 マ サ (高丸)	沼 野 富 士 子 (高泉)	金 光 榮 (高女岡)	矢 田 み どり (高徳)	縣 師 範 (高師)
稻 荷 山 久 米 子 (中津)	富 田 福 子 (京高)	河 端 チ ュ (高田)	中 野 サ チ (高神)	山 形 フ サ (高松)	福 島 し づ (高佐)	木 村 ア ズ ミ (高松)	宮 崎 か よ 子 (高岡)		井 本 清 子 (高下)	岡 春 野 (高愛)	曾 根 喜 代 子 (高神)	八 本 カ ブ 子 (高今)	水 谷 春 野 (高豊)	
林 キ ャ (高徳)	大 森 チ セ (高桑)	加 治 の ふ (高桑)	梅 村 郁 子 (高石)	的 場 英 乃 (高旭)	蘆 田 さ と (高天)	南 澄 (高長)	菅 谷 玉 藻 (高宇)		星 八 重 (高静)	加 藤 明 子 (高谷)	氏 家 カ リ エ (高丸)	交 川 リ ン (高河)	笹 田 操 (高石)	
荒 川 セ イ (高平)	光 江 芳 子 (高高)													

◎ 文 科 第三學年

中 鶴 サ カ エ (本校附屬)	三 谷 シ マ エ (高丸)	森 谷 八 千 代 (高丸)	◎ 家 事 科	岩 井 薫 (高梅)	吉 弘 ミ チ (高新)	中 ウ ミ チ (高鹿)	上 本 朝 子 (高親)	前 田 え げ る (高愛)	桐 原 た け (高茨)	下 田 ト ク (高盛)	森 く わ (高静)			
向 井 花 子 (高精)	三 橋 ミ ヨ (高弘)		馬 場 ミ ツ エ (高佐)	丹 野 コ ト (高山)	中 山 安 野 (高加)	栗 田 千 代 (高直)	栗 田 カ ラ ル (高門)	柴 田 千 代 子 (高天)	廣 内 敏 (高京)	菅 谷 真 砂 (高師)				
荒 川 セ イ (高平)	光 江 芳 子 (高高)		大 上 タ カ (本校附屬)	中 村 浩 三 (高福)	永 見 ノ ブ (高濱)	楠 本 信 (高佐)	麻 田 シ ナ (高梅)	柴 田 津 子 (高東)	平 尾 喜 美 (高丸)	杉 野 柳 (高石)				

市村カヅ高城女崎
 原田松代高米女子
 鳥居初枝石河女北
 岡田ユキ高河女北
 川村壽高佐女保
 坪井榮高松女松
 工藤みよ高足女利
 青木壽子高新女宮
 桐畑タキ高京女立
 進藤トメ高秋女田

○
 飯塚せ高土女浦
 近津八重高水女戸
 大徳トミ高高女松

◎
 理科

稲田悦高櫻女井
 新名静子鹿兒女島
 大野光江高田女邊
 小國みちる高姫女路
 兼行グサ高柳女河
 永山安惠高精女思
 山本幸高函女館
 坂口六枝高松女松
 木村モン高島女根
 平田千代子高神女戸

○
 服部静子高久女留
 細萱けみ高松女本
 大芝壽賀野高親女和
 渡邊俊子高静女岡
 多賀禎尾高姫女路
 上田輝子高高女松
 小林年高宇女宮
 坂手百々代高津女山
 清水常代高静女岡
 鈴木ユキ高會女津

○
 堀喜子石高女川
 沖野初生石高女川
 山崎カヨ高磨女津

餅田はぎ高塚女
 ◎
 家事科

池田マサコ高尾女道
 堀畑敏高山女陽
 岡スエ高佐女保
 高尾喜代本校女附
 武井通子高群女馬
 中村モト高堺女
 國井貞高山女形
 松本孝子本校女附
 小島朝子高福女井
 澤もと高彦女根
 樋口より高三女島

◎
 第二學年

石井トミエ高吳女
 十時網高柳女河
 奥村ふさ高滋女賀
 高平タケ高旭女川
 高尾喜代本校女附
 添田サタヨ高松女山
 宇川きやう高京女都
 山村澤子高城女崎
 藤伊環高函女館
 寺島真高神女立
 岸本芳高沖女繩
 本川ウタ高長女崎

山本春喜(高市女岡)
牧村里惠(高平女安)
坂野静江(名古屋第一高女)

◎家事科

板橋もと(和歌山)
二部野壽恵子(高山)
戒能喜代(高松)
吉田はる(富山)
中野多喜恵(高山)
信江龜野(就高女實)
松井多喜(福高女井)
深井谷(富高女山)
北村澄(大高女津)
須貝ヨシ(高平女廣)

松倉セキ(高富女山)
後藤雪枝(愛高師)
鈴木愷子(高高女知)

石黒美代(新高女湯)
奥山静(高山女形)
川島セツ(濱高女田)
館のふ(青高女森)
南部一枝(大高女垣)
野澤静枝(上高女田)
松倉クニ(富高女山)
小豆澤千代子(高松女江)
白井い(名古屋第二高女館)

松本キヨ(神奈川師)
江川文子(和歌山高女)

原田ミツヨ(高山女日)
小澤春子(高壘高女北)
片山重子(高岡高女山)
田久保キクノ(高佐高女賀)
村井照(高千高女葉)
窪田茂(高松高女山)
牧野美江(高松高女山)
佐藤七(福高師女島)
平野と(高木更女津)

◎文
岩名鋭子(本校附屬高女)
堀川志津(高女田)
橋道子(本校附屬高女)
内藤よし(高米高女澤)
宇高百合江(高旭高女川)
松平慶子(高壘高女北)

◎理科科目ヲ修ムル者

岩橋節(本校附屬高女)

◎家事科科目ヲ修ムル者

東原君代(柳高女河)

◎文科

濱田千恵(高女知)
都鳥良子(京都高女立)
多羅尾和(高三高女重)
中村節(高東高女金)
上村ち(高福高女井)
正木千枝(高長高女崎)

西川喜美代(高山高女陽)
釜本緑(西高女大)
多久和静子(高女大)
漆原政榮(高女松)
畔柳田鶴(高女淑)
小林信子(高師高女馬)

五藤 倪子 (高愛知淑徳女)
 佐々木 ツネ子 (高山口女)
 眞藤 さだ (高青森女)
 阿部 フミ (高柏崎女)
 木梨 康子 (高島取女)
 廣部 千鶴 (高三重女)
 佐藤 みち (高筑紫女)
 湯上 綾子 (高石川女)

◎理科

伊藤 はる子 (高豊橋女)
 橋本 ヤマ (高新發女)
 和田 静江 (高松女)
 高橋 まさる (高旭川女)
 山本 敏子 (高知女)
 櫻井 文子 (高古屋女)
 石原文 代 (高弘前女)
 堀江 八重 (高久留女)
 金津 キヨ (高函館女)
 草野 智恵子 (高都女)
 朝倉 三代 (高千代女)
 結城 アグリ (高筑紫女)
 石引 きく (高土浦女)
 芋坂 由 (高丸龜女)
 加納 あや子 (高佐世女)
 山口 サカエ (高浮羽女)
 酒井 つね (高高女)
 宮本 梅 (高本校附女)

◎家事科

岩田 のぶ (高松女)
 和泉 ユキエ (高宮範崎女)
 西海 玄彦 (高親和女)
 岩淵 倭文 (高盛岡女)
 石田 シヤ (高筑紫女)
 友成 鞠負 (高飯田女)
 伊藤 恒枝 (高新宮女)
 橋口 テイ (高師佐女)
 地引 より (高千代女)

大西 政雄 (高奈範良女)
 苅屋 キョウ (高九州女)
 吉田 みどり (高鳥取女)
 高松 ますみ (高高崎女)
 永井 スミ (高富山女)
 山口 小菊 (高神戶市立女)
 福田 花子 (高神戶市立女)
 天野 フミ (高師範女)
 森 美代 (高彦根女)
 鈴木 タケ (高西大寺女)
 川上 ハル (高今治女)
 金森 たまい (高高岡女)
 谷村 つた (高姫路女)
 多賀 喜久 (高岡女)
 村田 トネ (高長崎女)
 山本 サカエ (高佐波女)
 富士 谷テ (高福山女)
 安藤 ツル (高木更津女)
 須田 マサ (高函館女)
 加藤 下 (高石川女)
 米村 多恵 (高久留女)
 高橋 マサ (高新發女)
 筒井 まさ (高加佐女)
 野村 ハキ (高鹿島女)
 松平 ふみ (高土浦女)
 五島 あを (高師範女)
 本橋 こう (高成田女)
 杉本 フク (高濱田女)

◎文科

奥 淑子 (高松女)
 森川 ちよ (高本校附女)
 鳴澤 鈴子 (高本校附女)
 福住 ゆき (高清水谷女)

◎理科

生徒

入學者	北 海 道	東 京 都	大 阪 府	神 奈 川 縣	兵 庫 市	長 崎 縣	新 潟 縣	埼 玉 縣	群 馬 縣	千 葉 縣	茨 城 縣	栃 木 縣	入學	當時	年 齡
													最 高	最 低	平 均
二	三	四	二	一	二	二	二	一	一	一	一	二	二,一〇〇	一七,一	一九,四
一	四	二	六	一	三	一	一	一	一	一	二	一	三,一〇〇	一七,三	一八,一
二	二	一	四	二	一	一	一	一	一	二	一	一	三,一〇〇	一七,〇	一八,一〇
二	四	三	六	一	一	一	一	一	一	二	二	一	三,一〇〇	一七,一	一九,〇
二	二	四	二	三	一	一	一	一	一	二	二	一	三,一〇〇	一七,二	一八,九
二	一	二	五	一	二	二	二	一	一	二	一	一	二,一〇〇	一七,一	一八,七
一	三	一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二,〇八	一六,二	一七,一〇
二	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二,〇三	一六,〇	一七,五
二	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二,〇三	一六,〇	一七,五
二	一	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二,〇三	一六,〇	一七,五
三	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二,〇三	一六,〇	一七,五
三	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二,〇三	一六,〇	一七,五
三	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二,〇三	一六,〇	一七,五

開校以來十年間ニ於ケル生徒ニ關スル諸調査

△印ハ選科ニ入學シタルモノナリ
○印ハ選科生ヨリ本科生ニ編入シタルモノナリ

種 目	入學 當時 人員	選 科	
		文科學科目ヲ修ムルモノ	理科學科目ヲ修ムルモノ
第一期	師範出身 全二部出身 高女出身	第一學年 第二學年	第一學年 第二學年
第二期	三三 一一 四四	一九、一〇	一七、一〇
第三期	二二 二二 五六	一七、一〇	一七、一〇
第四期	九 一八 五六	一七、一〇	一七、一〇
第五期	一六 一六 五二	一八、一	一七、一〇
第六期	八 八 五一	一六、四	一七、一〇
第七期	五 一六 六七	一八、一〇	一七、一〇
第八期	五 二五 六九	一九、一〇	一七、一〇
第九期	五 一五 六八	一九、一〇	一七、一〇
第十期	六 一六 六七	一九、一〇	一七、一〇

生徒

別應

沖鹿宮熊佐大福高愛香德和山廣岡島鳥
兒歌
繩島崎本賀分岡知媛川島山口島山根取

| 一 | 二 二 一 三 一 二 一 二 二 二 三 三 一 一
一 | 二 三 | 三 一 三 二 二 二 一 三 二 二 一
一 一 | 二 一 三 一 一 三 一 二 一 一 二 一 一
一 一 | 一 一 一 一 一 三 三 二 四 一 二 三 二 |
一 | 一 二 一 二 一 一 二 三 二 二 二 二 一 二 一
一 一 | 一 | 一 | 二 | 二 五 | 二 一 一 三 | 二
一 二 | 一 | 二 三 | 二 七 | 一 | 一 三 五 二 一
| 二 | 一 | 二 一 四 一 二 五 一 | 一 三 三 一 一
二 | 一 | 一 一 一 一 三 一 三 三 三 | 三 二 四 | |
| 一 | 一 | 二 | 四 一 三 五 | 四 一 一 六 三 二

一八三

舉薦

富石福秋山青巖福宮長岐滋山靜愛三奈
山川井田形森手島城野阜賀梨岡知重良

| 三 一 一 三 一 一 | 一 二 二 一 二 一 一 二 二
二 一 二 | 三 一 二 | 一 三 二 二 | 三 二 三 三
二 一 三 一 三 一 一 | 二 三 三 二 二 一 三 二 二
| 三 二 | 二 | 一 | 一 三 一 三 一 | 四 二 二
一 三 一 一 一 | 一 二 二 二 二 一 一 一 二 三
一 一 三 | 二 | 一 | 一 一 一 一 一 一 二 一
二 一 二 一 一 | 一 一 一 三 | 一 一 | 一 一 | 四 |
一 一 一 二 三 一 二 | 一 一 一 一 一 一 一 一
一 三 二 | 二 | 一 | 一 一 一 一 二 | 三 三 一 一
五 四 一 一 一 一 | 二 | 三 | 二 | 三 三 | 一 |

一八二

計	在學セル者	死亡セシ者	者計	半途退學セシ者 病氣ニヨル者 其他ヨル者 ニヨル者故	卒業セシ者	人員			
						計	本校	關東	朝鮮
七八	一	一	六	二四	七二	七八	一	一	一
八一	一	一	一四	一一三	六六	八一	一	一	一
七六	一	一	九	八一	六六	七六	一	一	一
八〇	一	二	九	五四	六九	八〇	一	一	一
七四	一	二	一二	一〇二	六〇	七四	一	二	一
六一	四	三	六	二四	四八	六一	二	一	一
七五	六〇	一	一四	一〇四	一	七五	四	一	一
七六	六七	一	九	三六	一	七六	三	一	一
七五	六五	二	八	二六	一	七五	一	一	一
八三	八二	一	一	一	一	八三	一	一	一

◎卒業者

第一回卒業

(大正二年三月)

△印ハ甲種學費受給者
×印ハ乙種學費受給者
○印ハ結婚者
△内ハ選修科目名

◎國語漢文部

- 奈良女子高等師範學校助教 兼助教諭 △ 岩瀬茂登 (裁縫)
- 福岡縣若松市立高等女學校教諭 △ 細田ヒロ (裁縫)
- 朝鮮京城女子高等普通學校教諭兼舍監 △ 都竹さじ (園藝)
- 東京府私立東洋高等女學校教員 「中島」 × 伊藤カズ (習字)
- 岡山縣私立順正高等女學校教員 △ 信原隆 (圖畫)
- 山形縣立鶴岡高等女學校教諭 「阿部」 ×△ 大野久忍 (園藝)
- 「坂本」 ×△ 宍戸茂 (園藝)
- 京都市立高等女學校教諭 △× 鹽見タキ (習字)
- 鹿兒島縣女子師範學校教諭兼鹿兒島縣立第二高等女學校教諭 △ 今里エタ (音樂)
- 滋賀縣立彦根高等女學校教諭 △ 景山康子 (習字)
- 愛媛縣立松山高等女學校教諭 △ 中村コヲフ (裁縫)
- 奈良女子高等師範學校助教諭 △ 野村とし (園藝)
- 京都市立高等女學校教諭 「山田」 ×△ 伊佐逸 (習字)
- 奈良女子高等師範學校教諭 「安部」 ×△ 後藤ひろ (裁縫)
- 大阪府私立金蘭會高等女學校教員 「安藤」 ×△ 志田ハツネ (習字)
- 宮澤玉野 (習字)
- 杉村春野 (習字)

◎地理歴史部

大分縣立中津高等女
學校教諭 「石井」 ×△ 坂本スミ (裁縫)
長野縣松本女子師範學校教諭 ×△ 多田あや (圖畫)
兼舎監
京都市第二高等小學 「栗原」 ×△ 石垣つる (裁縫)
校訓導
和歌山縣師範學校教諭兼舎監 △ 秋草チカ (圖畫)
兵庫縣私立親和高等
女學校教員 「本村」 ×△ 荒木ユキヨ (裁縫)

◎ 數物化學部

「服部」 × 二川すゞ (圖藝)
△ 大村ミツ
「吉岡」 × 神崎美津
奈良女子高等師範學
校助教諭 「田丸」 △ 二村ミネ (圖藝)
「長井」 ×△ 堀あい
「安西」 ×△ 千葉ミキ (裁縫)
岩手縣師範學校教諭 △ 菊池ソノ (圖藝)

東京府私立淑徳高等女學校教
員 市川美さほ (裁縫)
「原谷」 ×△ 鈴木きよ (音樂)
「竹村」 ×△ 三原モト (圖藝)
京都市加佐郡立高等女學校教
諭 △ 近藤ひで (圖畫)
東京府私立九段精華
高等女學校教員 「清水」 ×△ 坂口ふみ (圖藝)

△ 華岡綾子 (圖畫)
「河東」 ×△ 三宅アイ
× 田中ムメノ (音樂)
福岡縣築上郡立高等女學校教
諭 △ 武吉ムツ (圖藝)
和歌山縣立粉河高等
女學校教諭 「中山」 × 伊藤茂世 (裁縫)
「木村」 ×△ 花房スエ (圖藝)
「宮本」 ×△ 高橋安 (圖藝)

京都府與謝郡立高等女學校教
諭 △ 廣部どう (圖藝)

◎ 博物家事部

東京府荏原郡立實科高等女學
校教諭 ×△ 岩崎文江 (圖藝)
山形縣立山形高等女學校教諭 ×△ 新關マツ (裁縫)
兼山形縣女子師範學校教諭
大阪府北河内郡立河
北高等女學校教諭 「沼田」 ×△ 北川恒 (圖藝)
「横山」 ×△ 小石菊枝 (圖藝)
「吉田」 ×△ 林絹 (音樂)
埼玉縣女子師範學校教諭兼舎
監 △ 竹内久代 (圖藝)
死亡 △ 中原菊枝 (裁縫)
△ 江本 × 三戸セツ (圖藝)
東京府立第三高等女
學校教諭 「森」 ×△ 寺島以登代 (圖藝)
岡山縣女子師範學校
教諭 「茂木」 ×△ 中村みき (圖藝)

朝鮮木浦公立實科高
等女學校教諭 「井上」 ×△ 奥中マサエ (圖畫)
「保科」 ×△ 佐香正 (圖藝)
「金子」 ×△ 緒方せのゑ
「吉井」 ×△ 小原せい (圖藝)
「田上」 ×△ 岡村ヤスコ (圖畫)
奈良女子高等師範學校助教諭 △ 堤コトモ (圖藝)
福島縣立會津高等女
學校教諭 「小林」 ×△ 松井きさる (圖藝)
徳島縣板野郡立實
科高等女學校教諭 「佐々木」 ×△ 中原ミサホ (圖藝)
福岡縣女子師範學校教諭兼舎
監 △ 森山ヨ子 (習字)